

鮎之瀬まちづくりアンケート

結果報告書

鮎之瀬地域委員会準備会

鮎之瀬まちづくりアンケート結果

概要

- 調査目的
現在、私たちが暮らす鮎之瀬地区(小瀬・池尻・広見)をより良い地域にしていくために、まちづくり組織である地域委員会の設立を目指し準備を進めています。
まちづくりを進めるためには、住民の皆さんの声をお聞きし、地域の課題を見つけることが重要です。そこで、皆さんが日ごろ考えていること等のご意見を聞くためのアンケートを企画しました。
- 調査主体
鮎之瀬地域委員会準備会
- 調査期間
令和4年9月1日～30日
- 調査対象
市役所が無作為に選んだ地区内にお住まい16歳以上の1200名。
(地区住民の20%相当)
- 実施方法
配布方法 郵送
回収方法 郵送 又は スマートフォン回答
- 回収結果
総回答数 421件 回収率 35.1%
(地区住民の7.0%相当)

鮎之瀬ふれあいアンケート 集計結果

回答者の基本情報

問1 あなたの性別はどちらですか。

性別	回答数	割合
男性	201	47.7%
女性	213	50.6%
未回答(不明)	7	1.7%
合計	421	100.0%

問2 あなたの年齢は満何歳ですか。

年齢	回答数	割合
16歳～19歳	38	9.0%
20歳～29歳	36	8.6%
30歳～39歳	44	10.5%
40歳～49歳	59	14.0%
50歳～59歳	43	10.2%
60歳～69歳	65	15.4%
70歳～79歳	79	18.8%
80歳以上	57	13.5%
未回答(不明)	0	0.0%
合計	421	100.0%

男性	割合	女性	割合
19	9.5%	19	8.9%
12	6.0%	24	11.3%
20	10.0%	24	11.3%
27	13.4%	32	15.0%
21	10.4%	21	9.9%
28	13.9%	36	16.9%
44	21.9%	34	16.0%
30	14.9%	23	10.8%

問3 あなたのお住まいの地区はどこですか。

住所	回答数	割合
小瀬	296	70.3%
池尻	41	9.7%
広見	82	19.5%
未回答(不明)	2	0.5%
合計	421	100.0%

男性	割合	女性	割合
143	71.1%	148	70.1%
21	10.4%	19	9.0%
37	18.4%	44	20.9%

問4 あなたは、現在の場所に住んで何年ですか。

居住年数	回答数	割合
5年未満	36	8.6%
5年以上10年未満	43	10.2%
10年以上20年未満	99	23.5%
20年以上	243	57.7%
未回答(不明)	0	0.0%
合計	421	100.0%

男性	割合	女性	割合
13	6.5%	23	10.8%
21	10.4%	22	10.3%
44	21.9%	55	25.8%
123	61.2%	113	53.1%

回答方法について

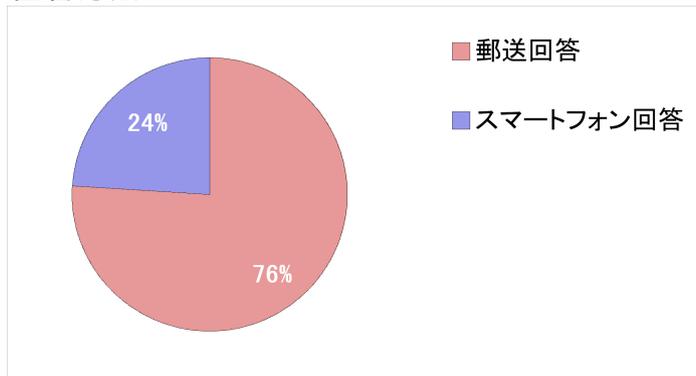
(参考データ)

郵送回答とスマートフォン回答の割合

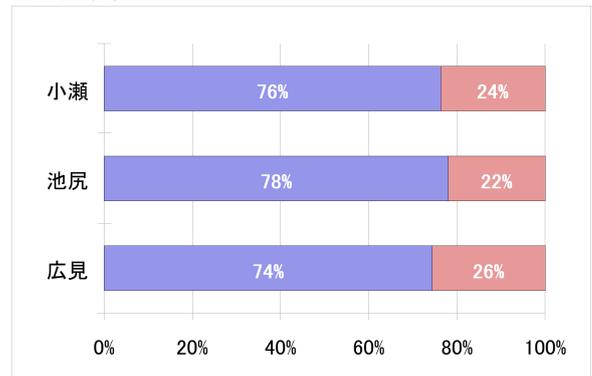
選択	全体	割合
郵送回答	320	76.0%
スマートフォン回答	101	24.0%
合計	421	100.0%

男性	割合	女性	割合
148	73.6%	165	77.5%
53	26.4%	48	22.5%

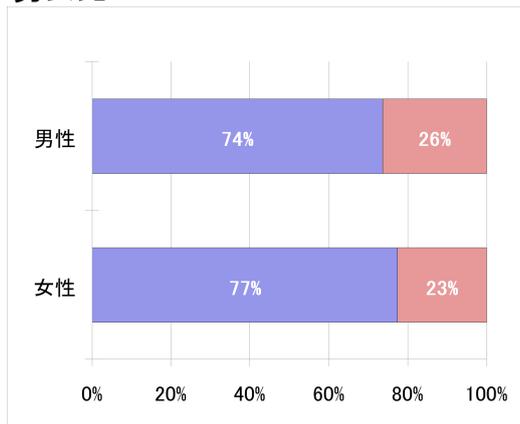
回答方法



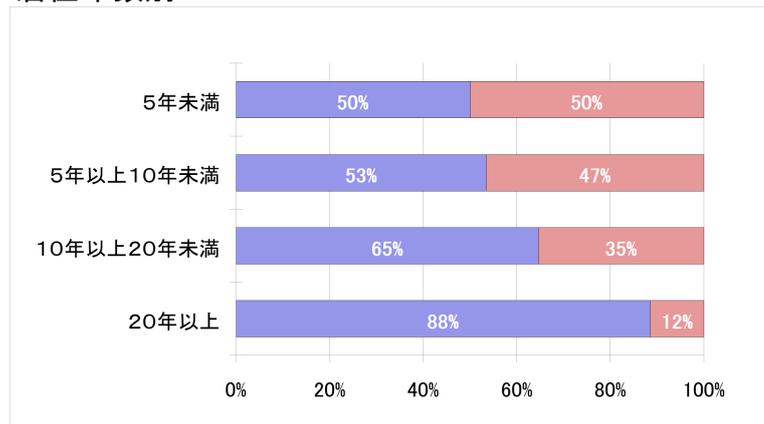
地区別



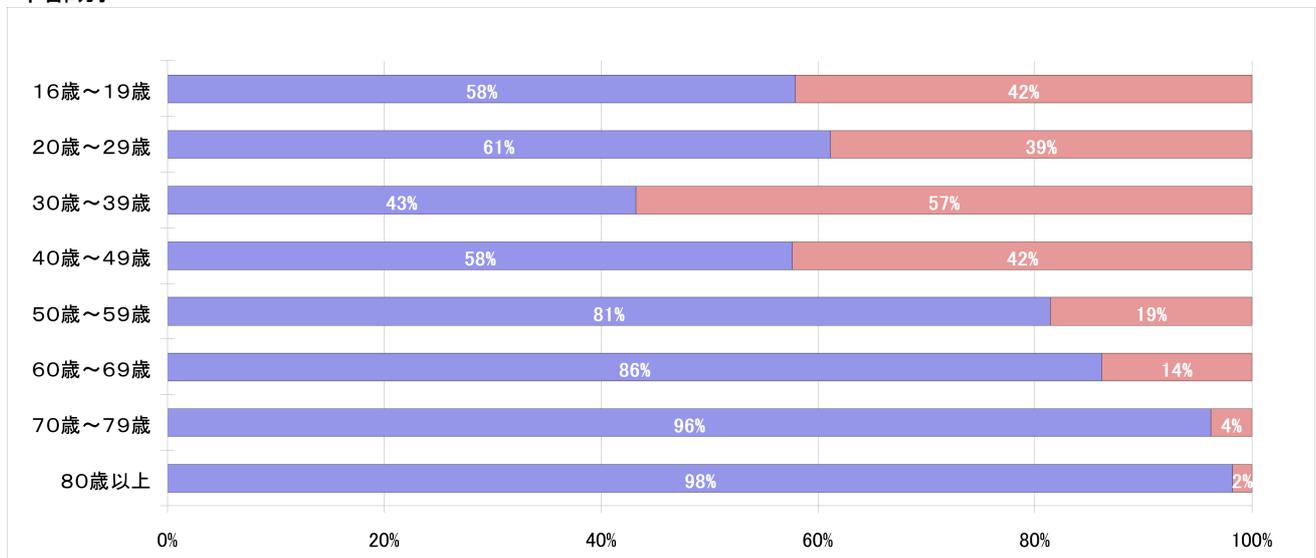
男女比



居住年数別



年齢別

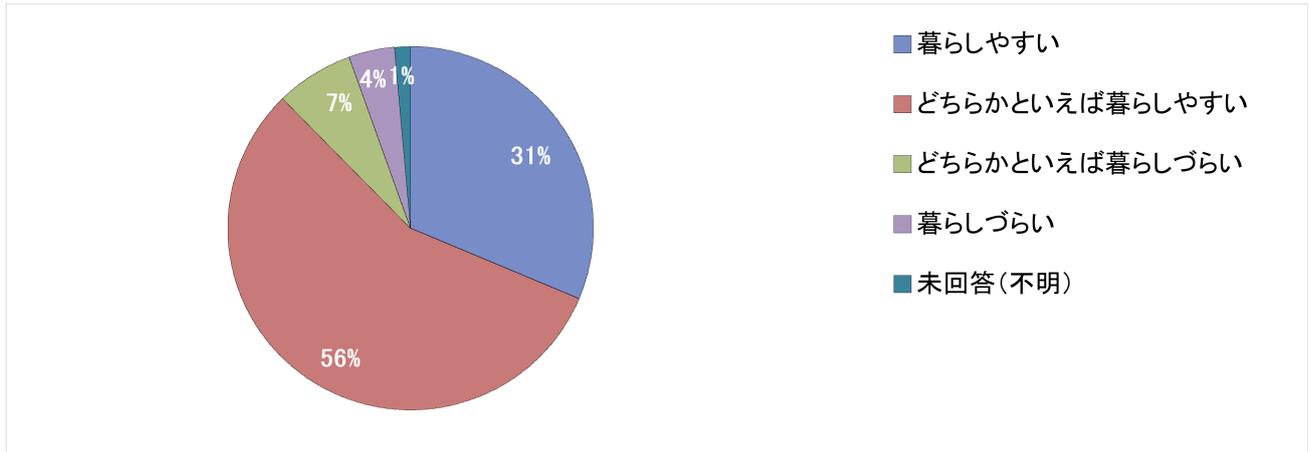


暮らしについてお聞きします

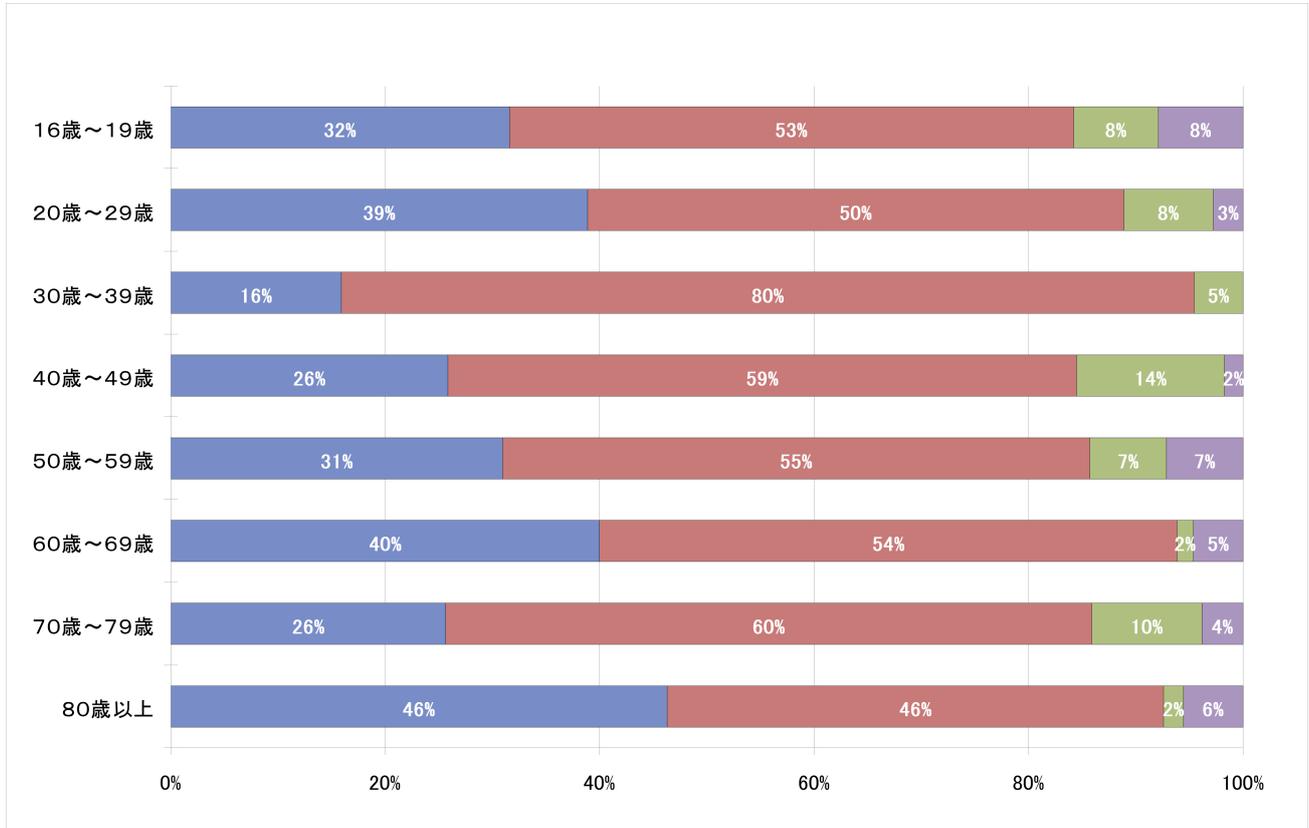
問5 あなたにとってこの地区は暮らしやすいですか。

選択	全体	割合
暮らしやすい	132	31.4%
どちらかといえば暮らしやすい	237	56.3%
どちらかといえば暮らしづらい	29	6.9%
暮らしづらい	17	4.0%
未回答(不明)	6	1.4%
合計	421	100.0%

男性	割合	女性	割合
64	32.3%	65	30.8%
117	59.1%	117	55.5%
10	5.1%	19	9.0%
7	3.5%	10	4.7%



年齢別

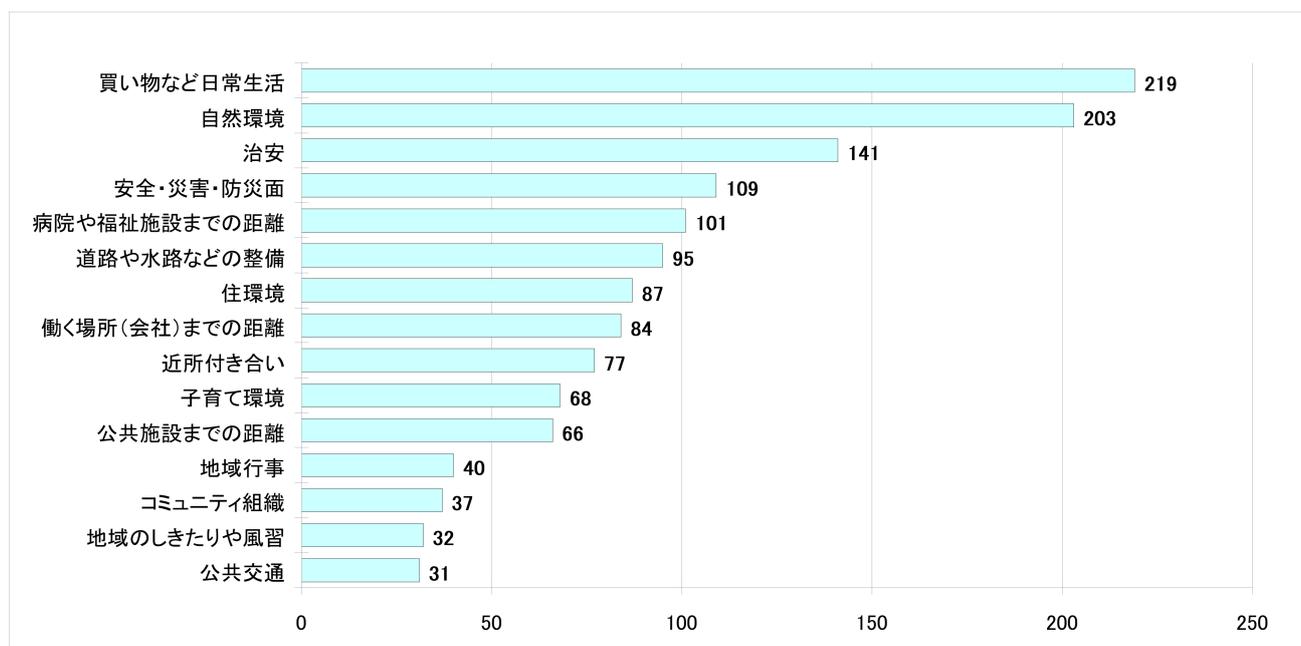


問6 暮らしやすいと思うところは何ですか。

複数選択回答

選択	全体	割合
買い物など日常生活	219	15.8%
自然環境	203	14.6%
治安	141	10.1%
安全・災害・防災面	109	7.8%
病院や福祉施設までの距離	101	7.3%
道路や水路などの整備	95	6.8%
住環境	87	6.3%
働く場所(会社)までの距離	84	6.0%
近所付き合い	77	5.5%
子育て環境	68	4.9%
公共施設までの距離	66	4.7%
地域行事	40	2.9%
コミュニティ組織	37	2.7%
地域のしきたりや風習	32	2.3%
公共交通	31	2.2%
合計	1390	100.0%

男性	割合	女性	割合
106	16.3%	111	15.4%
101	15.5%	97	13.5%
77	11.8%	61	8.5%
56	8.6%	51	7.1%
38	5.8%	62	8.6%
47	7.2%	47	6.5%
44	6.8%	43	6.0%
34	5.2%	49	6.8%
31	4.8%	45	6.2%
26	4.0%	41	5.7%
25	3.8%	41	5.7%
22	3.4%	18	2.5%
16	2.5%	21	2.9%
12	1.8%	19	2.6%
15	2.3%	15	2.1%



年齢別にみる理由

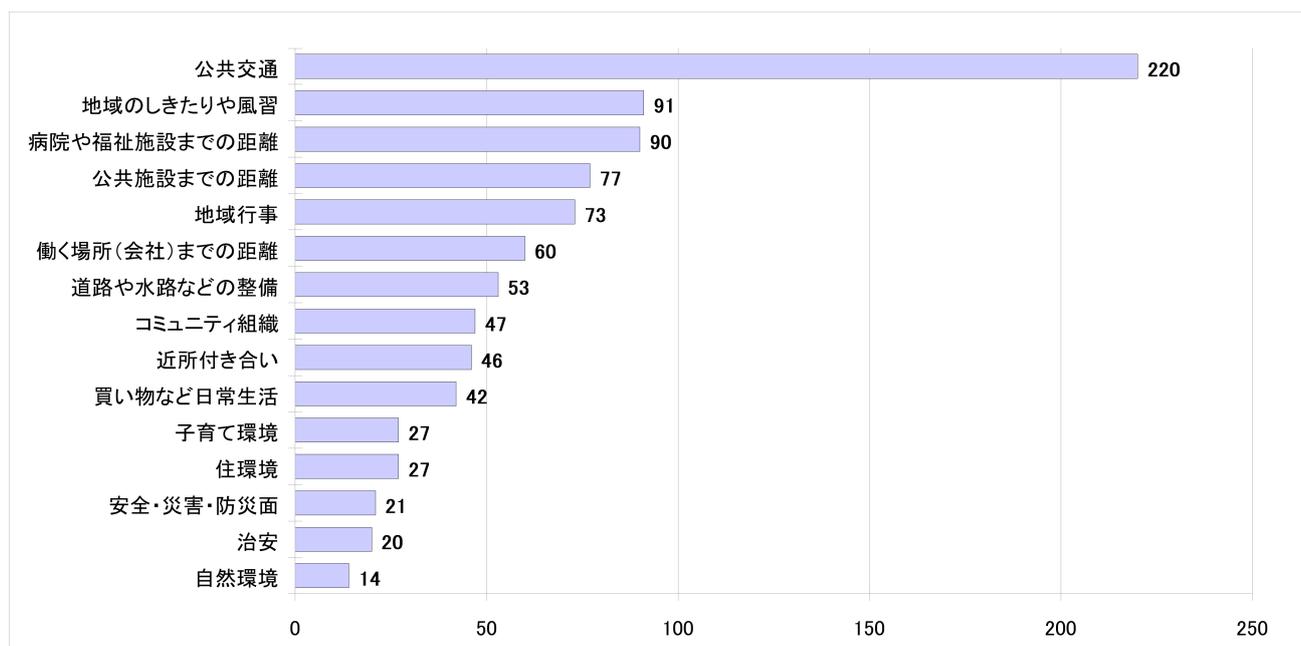
年齢	1位	2位	3位
16歳～19歳	買い物など日常生活	自然環境	治安
20歳～29歳	買い物など日常生活	自然環境	治安
30歳～39歳	買い物など日常生活	働く場所までの距離	自然環境
40歳～49歳	買い物など日常生活	自然環境	治安
50歳～59歳	自然環境	治安	買い物など日常生活
60歳～69歳	買い物など日常生活	自然環境	治安
70歳～79歳	買い物など日常生活	自然環境	病院や施設までの距離
80歳以上	自然環境	買い物など日常生活	治安

問6 暮らしづらと思うところは何ですか。

複数選択回答

選択	全体	割合
公共交通	220	24.2%
地域のしきたりや風習	91	10.0%
病院や福祉施設までの距離	90	9.9%
公共施設までの距離	77	8.5%
地域行事	73	8.0%
働く場所(会社)までの距離	60	6.6%
道路や水路などの整備	53	5.8%
コミュニティ組織	47	5.2%
近所付き合い	46	5.1%
買い物など日常生活	42	4.6%
子育て環境	27	3.0%
住環境	27	3.0%
安全・災害・防災面	21	2.3%
治安	20	2.2%
自然環境	14	1.5%
合計	908	100.0%

男性	割合	女性	割合
99	23.0%	117	25.9%
44	10.2%	45	10.0%
47	10.9%	42	9.3%
19	4.4%	42	9.3%
39	9.1%	33	7.3%
32	7.4%	28	6.2%
24	5.6%	29	6.4%
28	6.5%	19	4.2%
24	5.6%	21	4.6%
19	4.4%	22	4.9%
13	3.0%	14	3.1%
13	3.0%	14	3.1%
11	2.6%	10	2.2%
7	1.6%	13	2.9%
11	2.6%	3	0.7%



年齢別にみる理由

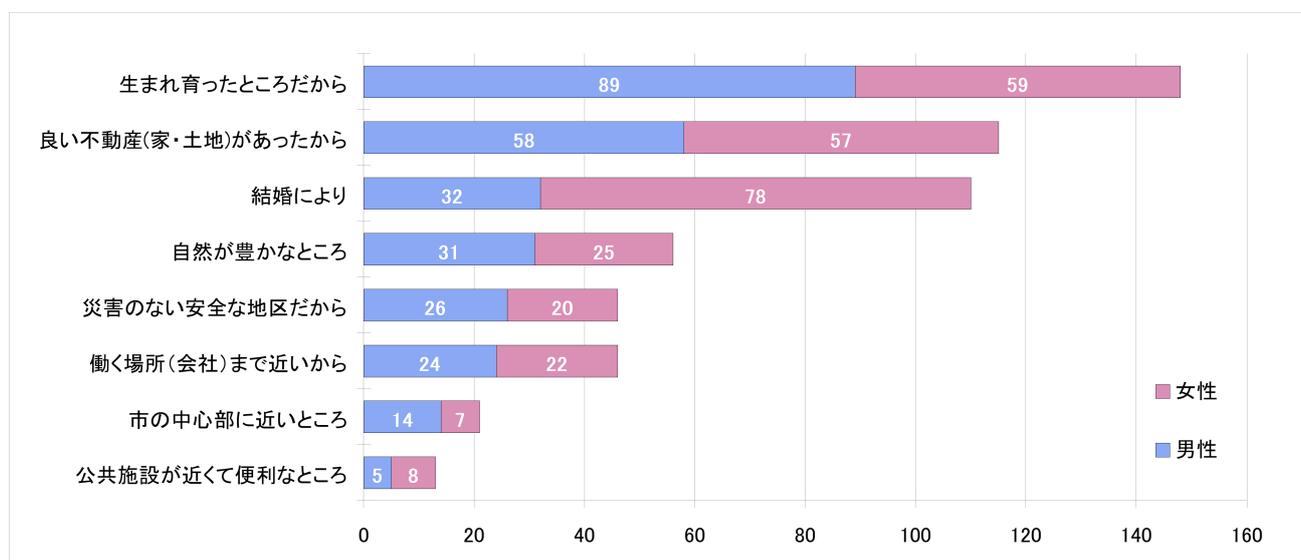
年齢	1位	2位	3位
16歳～19歳	公共交通	働く場所までの距離	病院や施設までの距離
20歳～29歳	公共交通	病院や施設までの距離	地域のしきたりや風習
30歳～39歳	公共交通	地域のしきたりや風習	公共施設までの距離
40歳～49歳	公共交通	地域のしきたりや風習	地域行事
50歳～59歳	公共交通	地域のしきたりや風習	地域行事
60歳～69歳	公共交通	公共施設までの距離	働く場所までの距離
70歳～79歳	公共交通	病院や施設までの距離	地域行事
80歳以上	病院や施設までの距離	公共交通	公共施設までの距離

問7 あなたが現在の場所に暮らすことにした理由は何ですか。

複数選択回答

選択	全体	割合
生まれ育ったところだから	151	10.9%
良い不動産(家・土地)があったから	117	8.4%
結婚により	112	8.1%
自然が豊かなところ	58	4.2%
災害のない安全な地区だから	47	3.4%
働く場所(会社)まで近いから	46	3.3%
市の中心部に近いところ	21	1.5%
公共施設が近くて便利なおところ	13	0.9%
未回答(その他)	3	0.7%
合計	568	100.0%

男性	割合	女性	割合
89	31.9%	59	21.4%
58	20.8%	57	20.7%
32	11.5%	78	28.3%
31	11.1%	25	9.1%
26	9.3%	20	7.2%
24	8.6%	22	8.0%
14	5.0%	7	2.5%
5	1.8%	8	2.9%



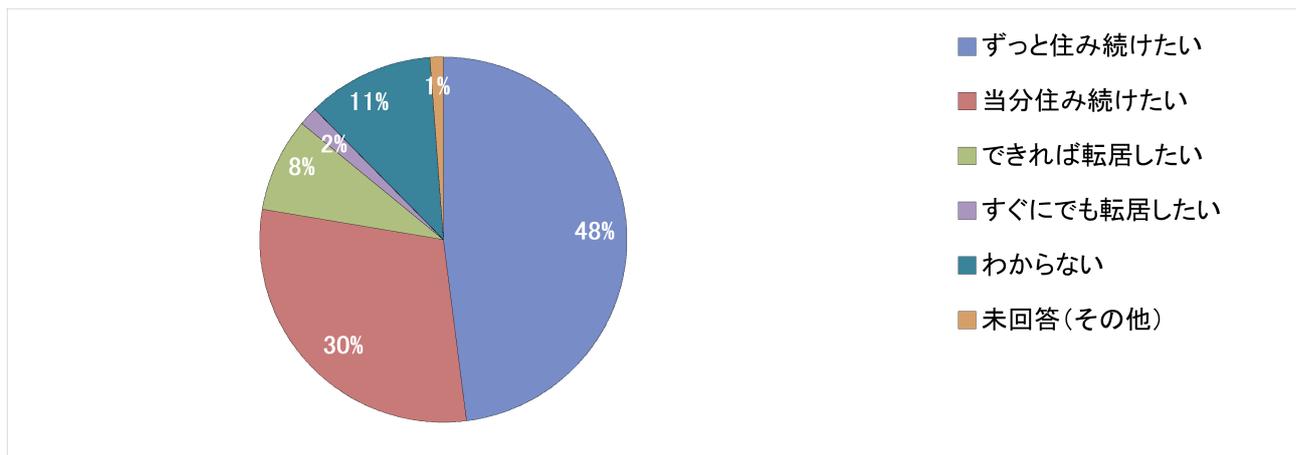
年齢別にみる理由

年齢	1位	2位	3位
16歳～19歳	生まれ育ったところだから	災害のない安全な地区	自然が豊かなところ
20歳～29歳	生まれ育ったところだから	働く場所まで近いから	結婚により
30歳～39歳	良い不動産があったから	生まれ育ったところだから	働く場所まで近いから
40歳～49歳	生まれ育ったところだから	結婚により	良い不動産があったから
50歳～59歳	結婚により	生まれ育ったところだから	良い不動産があったから
60歳～69歳	良い不動産があったから	結婚により	生まれ育ったところだから
70歳～79歳	良い不動産があったから	自然が豊かなところ	生まれ育ったところだから
80歳以上	生まれ育ったところだから	結婚により	良い不動産があったから

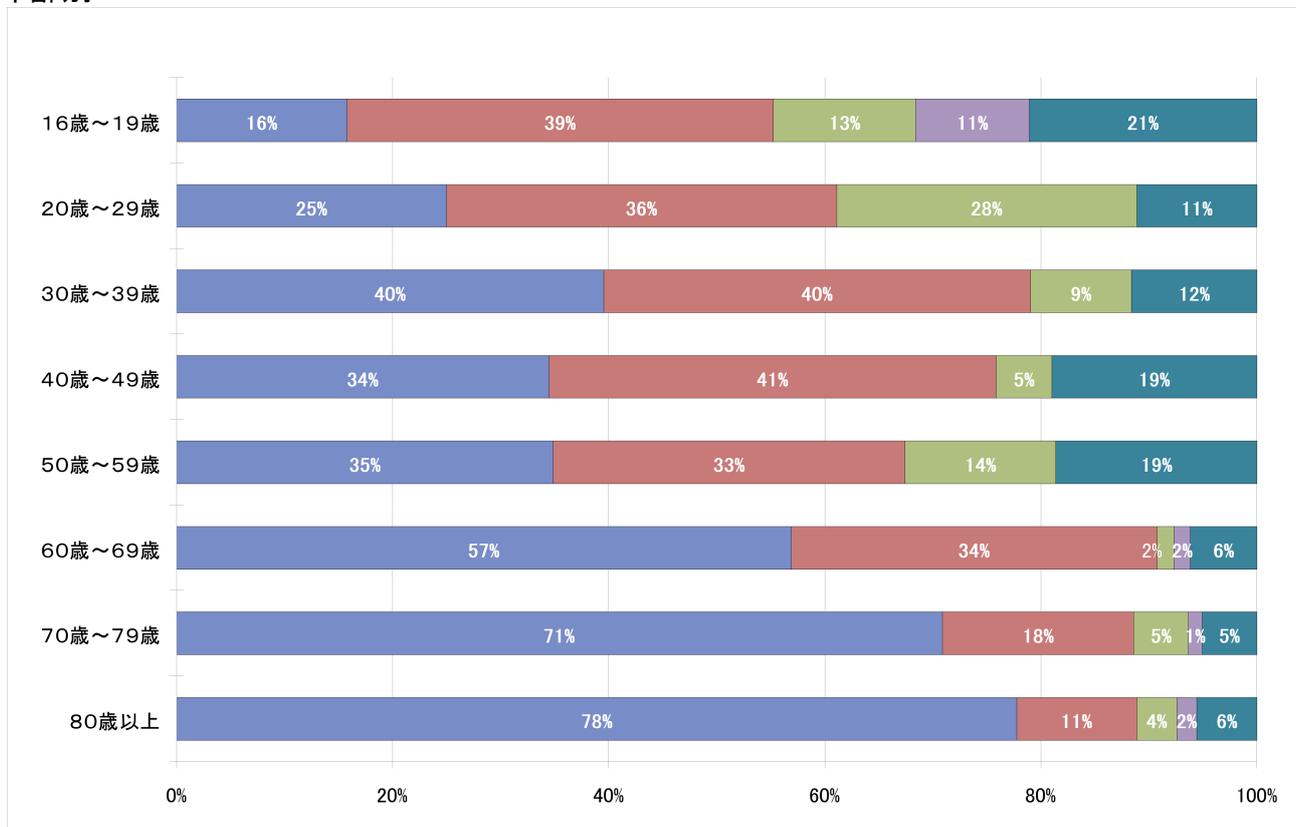
問8 あなたは現在の場所にこれからも住みたいと思いますか。

選択	全体	割合
ずっと住みたい	202	48.0%
当分住みたい	125	29.7%
できれば転居したい	35	8.3%
すぐにでも転居したい	7	1.7%
わからない	47	11.2%
未回答(その他)	5	1.2%
合計	421	100.0%

男性	割合	女性	割合
98	49.5%	100	47.4%
66	33.3%	57	27.0%
8	4.0%	27	12.8%
3	1.5%	4	1.9%
23	11.6%	23	10.9%



年齢別

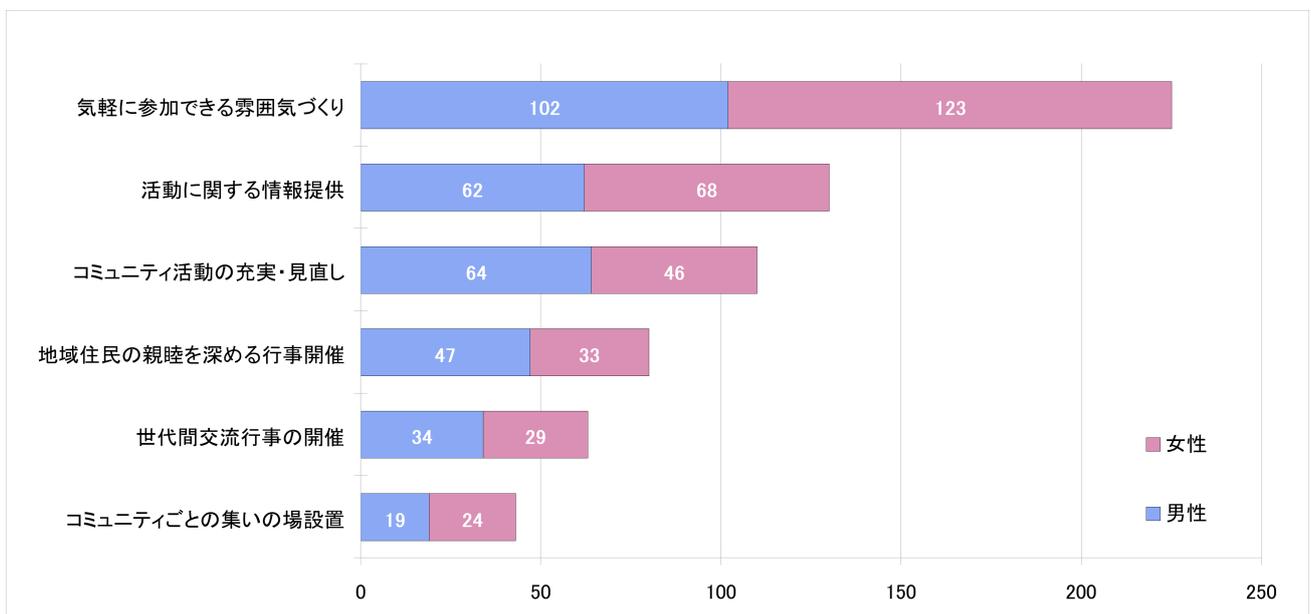


まちづくり活動についてお聞きします

問9 地域の絆やコミュニティを守るためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

複数選択回答

選択	全体	割合	男性	割合	女性	割合
気軽に参加できる雰囲気づくり	231	34.1%	102	31.1%	123	38.1%
活動に関する情報提供	130	19.2%	62	18.9%	68	21.1%
コミュニティ活動の充実・見直し	112	16.5%	64	19.5%	46	14.2%
地域住民の親睦を深める行事開催	82	12.1%	47	14.3%	33	10.2%
世代間交流行事の開催	64	9.4%	34	10.4%	29	9.0%
コミュニティごとの集いの場設置	45	6.6%	19	5.8%	24	7.4%
未回答(その他)	14	2.1%				
合計	678	100.0%				



年齢別にみる理由

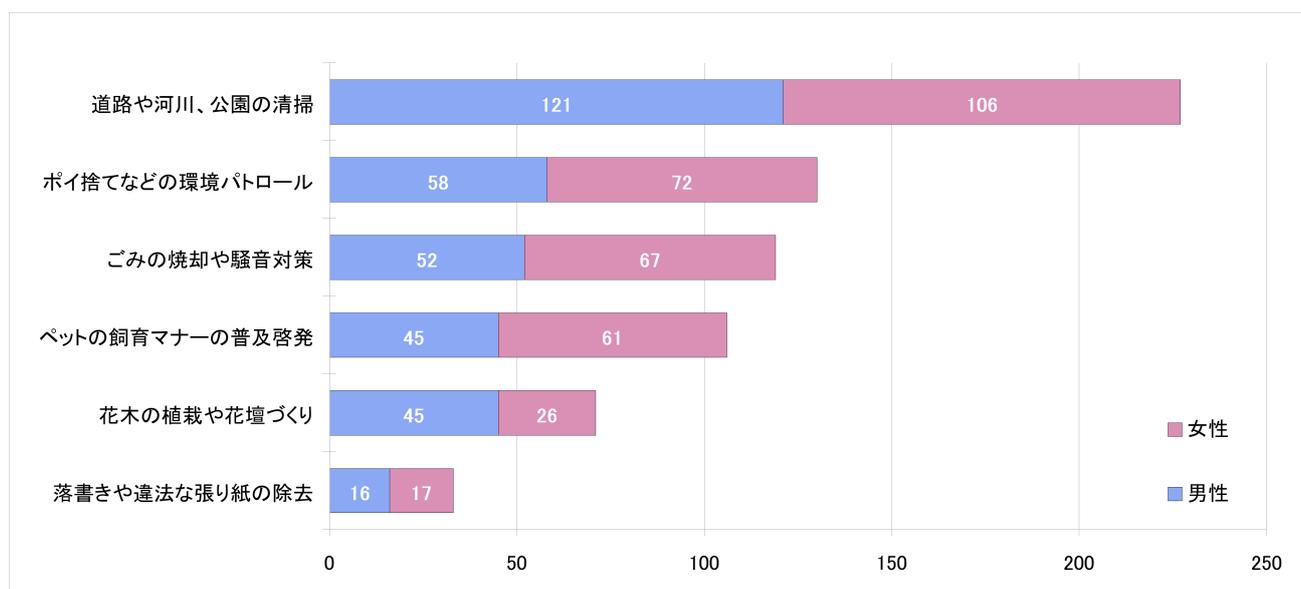
年齢	1位	2位	3位
16歳～19歳	コミュニティ活動の充実・見直し	気軽に参加できる雰囲気づくり	活動に関する情報提供
20歳～29歳	気軽に参加できる雰囲気づくり	活動に関する情報提供	コミュニティ活動の充実・見直し
30歳～39歳	気軽に参加できる雰囲気づくり	活動に関する情報提供	地域住民の親睦を深める行事の開催
40歳～49歳	気軽に参加できる雰囲気づくり	活動に関する情報提供	コミュニティ活動の充実・見直し
50歳～59歳	気軽に参加できる雰囲気づくり	活動に関する情報提供	コミュニティ活動の充実・見直し
60歳～69歳	気軽に参加できる雰囲気づくり	活動に関する情報提供	コミュニティ活動の充実・見直し
70歳～79歳	気軽に参加できる雰囲気づくり	地域住民の親睦を深める行事の開催	コミュニティ活動の充実・見直し
80歳以上	気軽に参加できる雰囲気づくり	地域住民の親睦を深める行事の開催	コミュニティ活動の充実・見直し

問10 生活環境を守るためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

複数選択回答

選択	全体	割合
道路や河川、公園の清掃	232	32.7%
ポイ捨てなどの環境パトロール	131	18.5%
ごみの焼却や騒音対策	120	16.9%
ペットの飼育マナーの普及啓発	109	15.4%
花木の植栽や花壇づくり	73	10.3%
落書きや違法な張り紙の除去	34	4.8%
未回答(その他)	10	1.4%
合計	709	100.0%

男性	割合	女性	割合
121	35.9%	106	30.4%
58	17.2%	72	20.6%
52	15.4%	67	19.2%
45	13.4%	61	17.5%
45	13.4%	26	7.4%
16	4.7%	17	4.9%



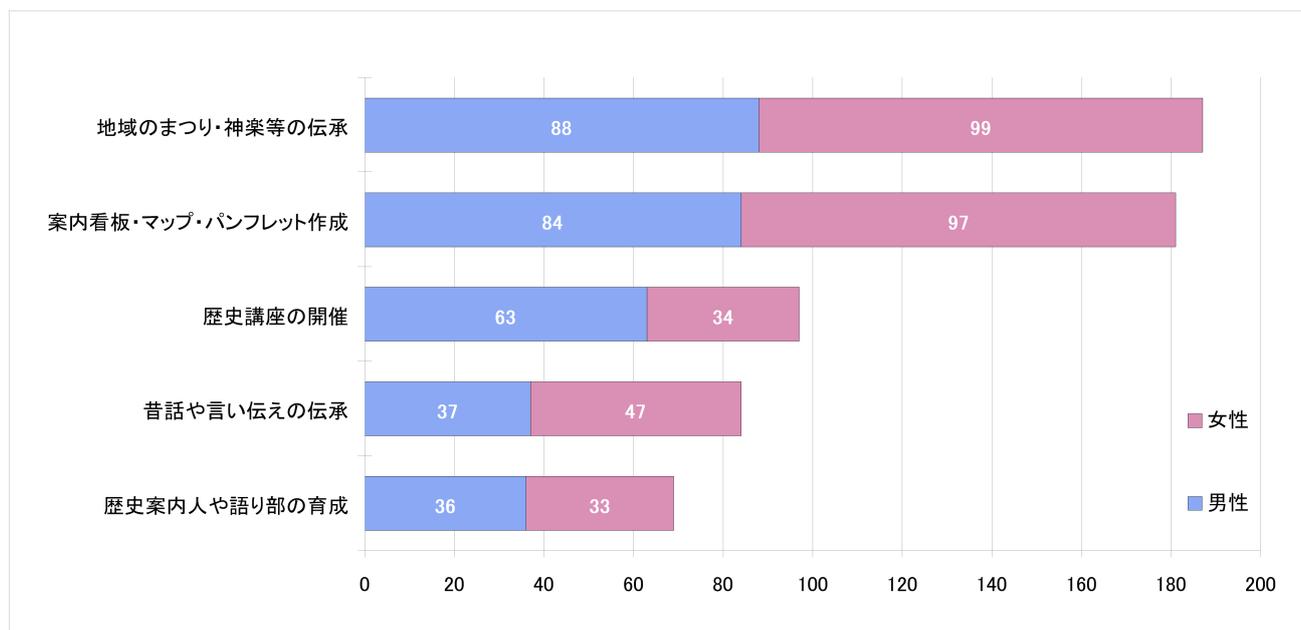
年齢別にみる理由

年齢	1位	2位	3位
16歳～19歳	道路や河川、公園の清掃	ポイ捨てなどの環境パトロール	ごみの焼却や騒音対策
20歳～29歳	道路や河川、公園の清掃	ポイ捨てなどの環境パトロール	ごみの焼却や騒音対策
30歳～39歳	道路や河川、公園の清掃	ごみの焼却や騒音対策	ポイ捨てなどの環境パトロール
40歳～49歳	道路や河川、公園の清掃	ペットの飼育マナーの普及啓発	ごみの焼却や騒音対策
50歳～59歳	道路や河川、公園の清掃	ごみの焼却や騒音対策	ペットの飼育マナーの普及啓発
60歳～69歳	道路や河川、公園の清掃	ポイ捨てなどの環境パトロール	ごみの焼却や騒音対策
70歳～79歳	道路や河川、公園の清掃	ポイ捨てなどの環境パトロール	ペットの飼育マナーの普及啓発
80歳以上	道路や河川、公園の清掃	ペットの飼育マナーの普及啓発	ポイ捨てなどの環境パトロール

問11 伝統文化を保存活用するためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

複数選択回答

選択	全体	割合	男性	割合	女性	割合
地域のまつり・神楽等の伝承	191	29.5%	88	28.6%	99	31.9%
案内看板・マップ・パンフレット作成	184	28.4%	84	27.3%	97	31.3%
歴史講座の開催	99	15.3%	63	20.5%	34	11.0%
昔話や言い伝えの伝承	84	13.0%	37	12.0%	47	15.2%
歴史案内人や語り部の育成	71	11.0%	36	11.7%	33	10.6%
未回答(その他)	18	2.8%				
合計	647	100.0%				



年齢別にみる理由

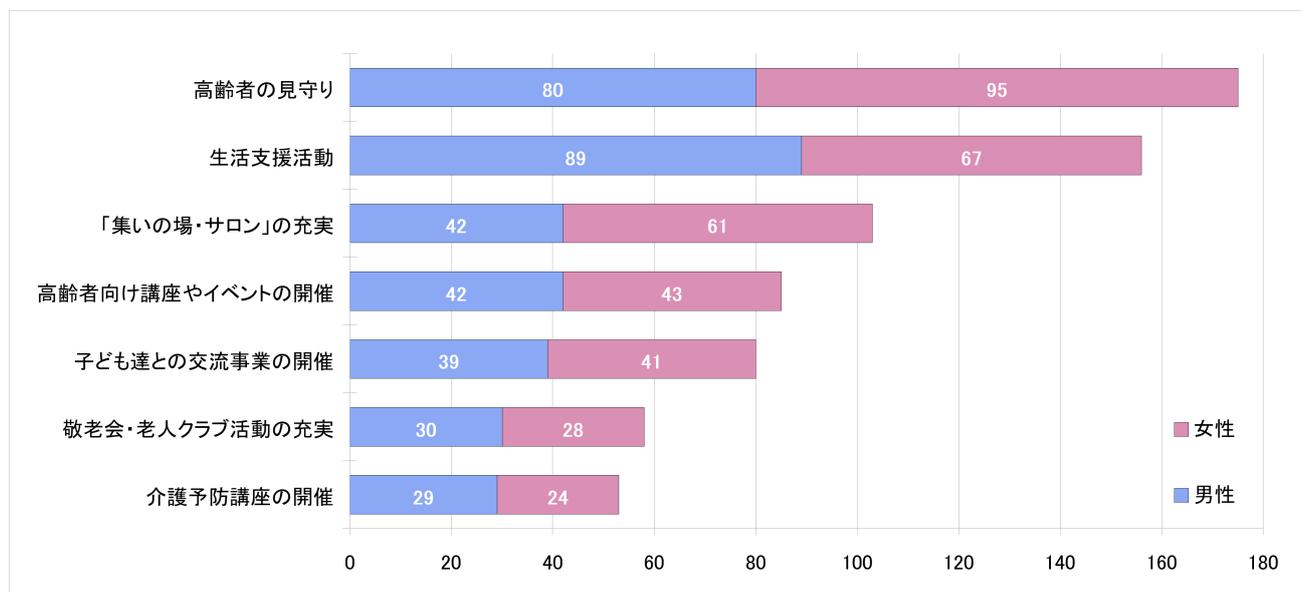
年齢	1位	2位	3位
16歳～19歳	案内看板・マップ・パンフレット作成	地域のまつり・神楽等の伝承	昔話や言い伝えの伝承
20歳～29歳	地域のまつり・神楽等の伝承	案内看板・マップ・パンフレット作成	昔話や言い伝えの伝承
30歳～39歳	地域のまつり・神楽等の伝承	案内看板・マップ・パンフレット作成	昔話や言い伝えの伝承
40歳～49歳	案内看板・マップ・パンフレット作成	地域のまつり・神楽等の伝承	歴史案内人や語り部の育成
50歳～59歳	案内看板・マップ・パンフレット作成	地域のまつり・神楽等の伝承	歴史案内人や語り部の育成
60歳～69歳	地域のまつり・神楽等の伝承	案内看板・マップ・パンフレット作成	歴史講座の開催
70歳～79歳	案内看板・マップ・パンフレット作成	地域のまつり・神楽等の伝承	歴史講座の開催
80歳以上	地域のまつり・神楽等の伝承	歴史講座の開催	案内看板・マップ・パンフレット作成

問12 高齢者が安心して生き生きと暮らすためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

複数選択回答

選択	全体	割合
高齢者の見守り	176	24.1%
生活支援活動	158	21.7%
「集いの場・サロン」の充実	106	14.5%
高齢者向け講座やイベントの開催	85	11.7%
子ども達との交流事業の開催	81	11.1%
敬老会・老人クラブ活動の充実	60	8.2%
介護予防講座の開催	56	7.7%
未回答(その他)	7	1.0%
合計	729	100.0%

男性	割合	女性	割合
80	22.8%	95	26.5%
89	25.4%	67	18.7%
42	12.0%	61	17.0%
42	12.0%	43	12.0%
39	11.1%	41	11.4%
30	8.5%	28	7.8%
29	8.3%	24	6.7%



年齢別にみる理由

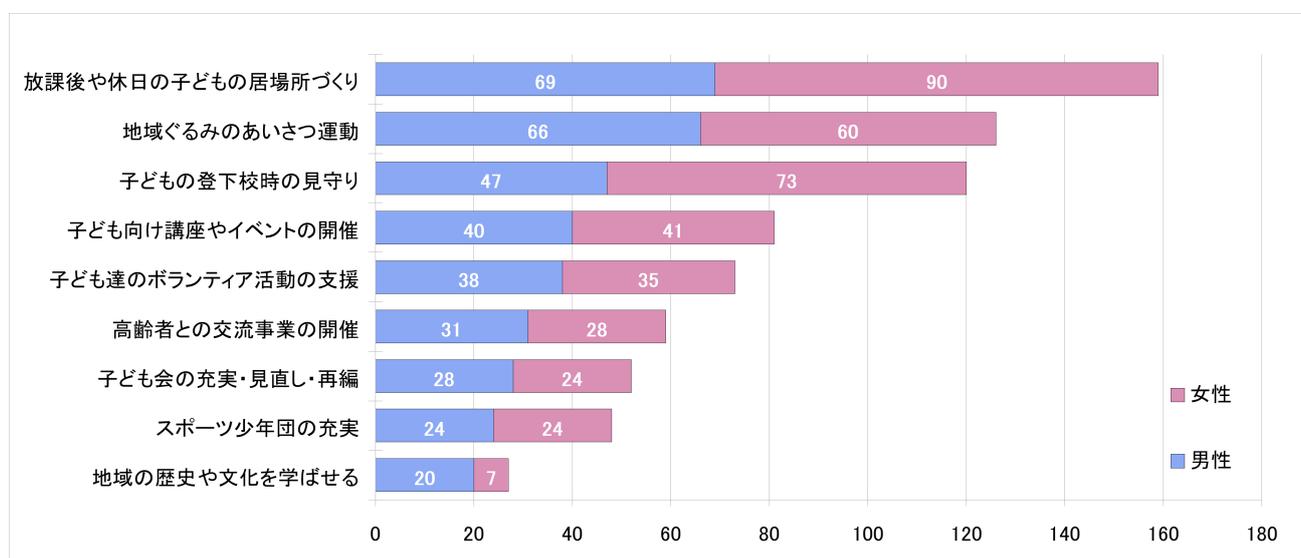
年齢	1位	2位	3位
16歳～19歳	高齢者の見守り	子ども達との交流事業の開催	敬老会・老人クラブ活動の充実
20歳～29歳	高齢者の見守り	生活支援活動	高齢者向け講座やイベントの開催
30歳～39歳	「集いの場・サロン」の充実	子ども達との交流事業の開催	生活支援活動
40歳～49歳	高齢者の見守り	生活支援活動	子ども達との交流事業の開催
50歳～59歳	生活支援活動	高齢者の見守り	「集いの場・サロン」の充実
60歳～69歳	高齢者の見守り	生活支援活動	「集いの場・サロン」の充実
70歳～79歳	高齢者の見守り	生活支援活動	高齢者向け講座やイベントの開催
80歳以上	高齢者の見守り	生活支援活動	敬老会・老人クラブ活動の充実

問13 子ども達を健やかに育むためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

複数選択回答

選択	全体	割合
放課後や休日の子どもの居場所づくり	162	21.2%
地域ぐるみのあいさつ運動	129	16.9%
子どもの登下校時の見守り	121	15.8%
子ども向け講座やイベントの開催	83	10.9%
子ども達のボランティア活動の支援	74	9.7%
高齢者との交流事業の開催	59	7.7%
子ども会の充実・見直し・再編	53	6.9%
スポーツ少年団の充実	48	6.3%
地域の歴史や文化を学ばせる	28	3.7%
未回答(その他)	7	0.9%
合計	764	100.0%

男性	割合	女性	割合
69	19.0%	90	23.6%
66	18.2%	60	15.7%
47	12.9%	73	19.1%
40	11.0%	41	10.7%
38	10.5%	35	9.2%
31	8.5%	28	7.3%
28	7.7%	24	6.3%
24	6.6%	24	6.3%
20	5.5%	7	1.8%



年齢別にみる理由

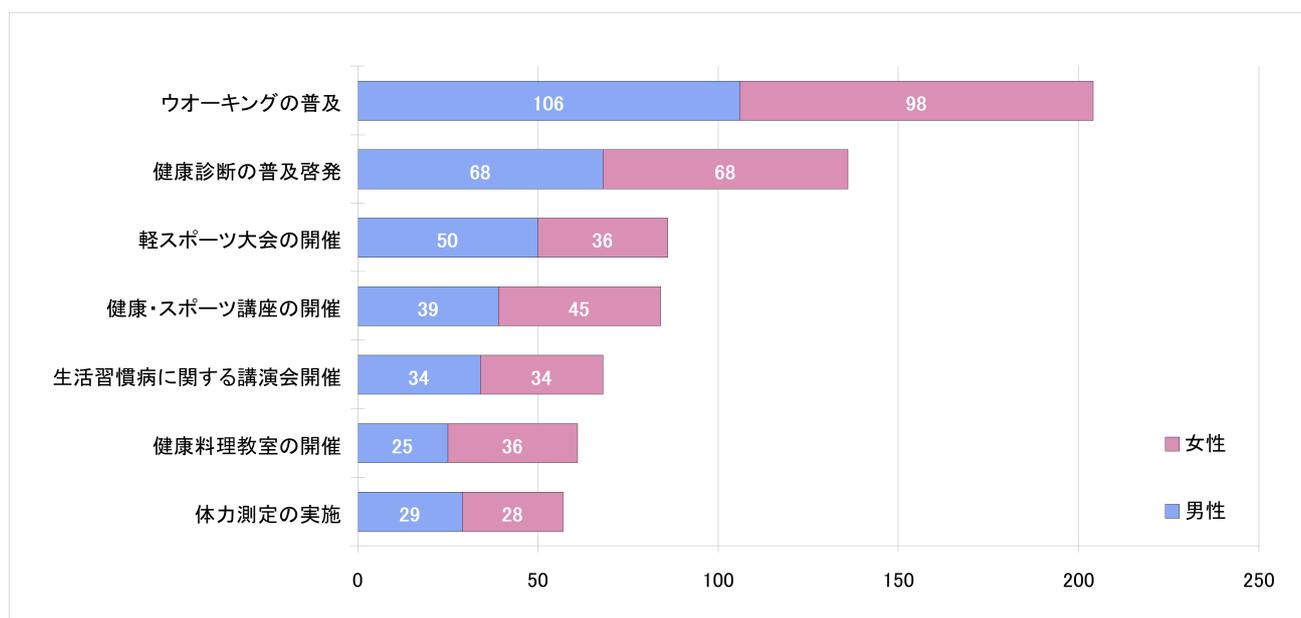
年齢	1位	2位	3位
16歳～19歳	放課後や休日の子どもの居場所づくり	子ども向け講座やイベントの開催	子どもの登下校時の見守り
20歳～29歳	子どもの登下校時の見守り	放課後や休日の子どもの居場所づくり	子ども向け講座やイベントの開催
30歳～39歳	放課後や休日の子どもの居場所づくり	子どもの登下校時の見守り	子ども向け講座やイベントの開催
40歳～49歳	放課後や休日の子どもの居場所づくり	子どもの登下校時の見守り	子ども向け講座やイベントの開催
50歳～59歳	放課後や休日の子どもの居場所づくり	子どもの登下校時の見守り	子ども達のボランティア活動の支援
60歳～69歳	地域ぐるみのあいさつ運動	放課後や休日の子どもの居場所づくり	子どもの登下校時の見守り
70歳～79歳	地域ぐるみのあいさつ運動	放課後や休日の子どもの居場所づくり	子ども達のボランティア活動の支援
80歳以上	地域ぐるみのあいさつ運動	高齢者との交流事業の開催	放課後や休日の子どもの居場所づくり

問14 健康増進のためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

複数選択回答

選択	全体	割合
ウォーキングの普及	208	28.9%
健康診断の普及啓発	138	19.2%
軽スポーツ大会の開催	88	12.2%
健康・スポーツ講座の開催	84	11.7%
生活習慣病に関する講演会開催	70	9.7%
健康料理教室の開催	62	8.6%
体力測定の実施	57	7.9%
未回答(その他)	12	1.7%
合計	719	100.0%

男性	割合	女性	割合
106	30.2%	98	28.4%
68	19.4%	68	19.7%
50	14.2%	36	10.4%
39	11.1%	45	13.0%
34	9.7%	34	9.9%
25	7.1%	36	10.4%
29	8.3%	28	8.1%



年齢別にみる理由

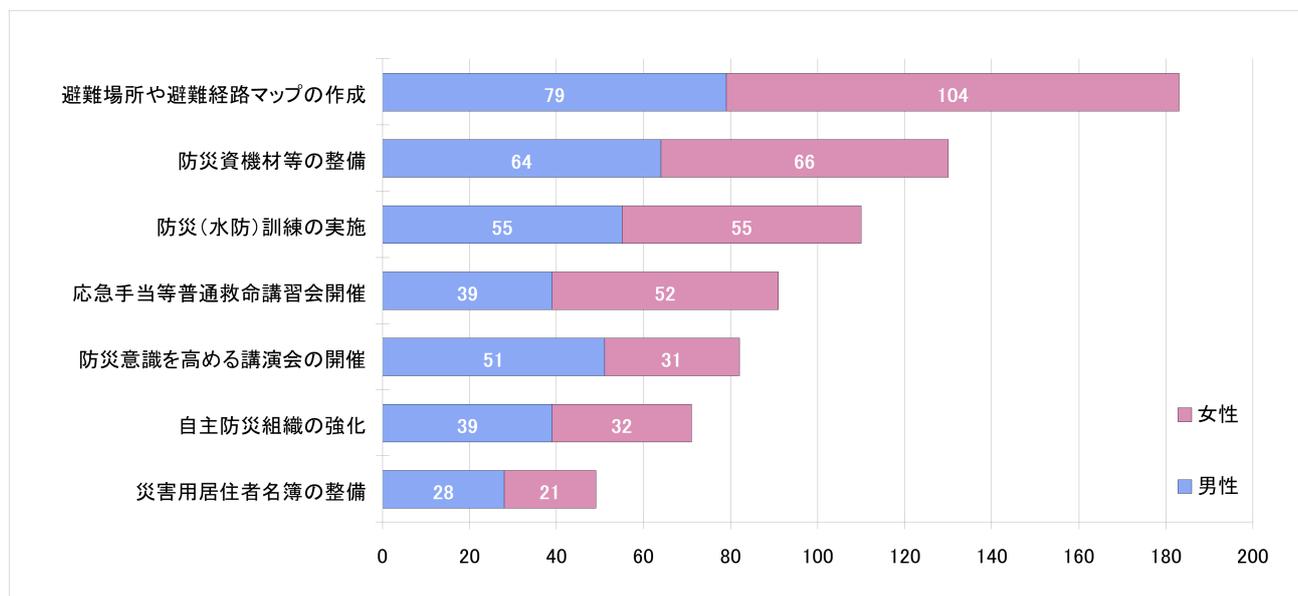
年齢	1位	2位	3位
16歳～19歳	ウォーキングの普及	健康診断の普及啓発	軽スポーツ大会の開催
20歳～29歳	健康診断の普及啓発	ウォーキングの普及	体力測定の実施
30歳～39歳	健康診断の普及啓発	ウォーキングの普及	軽スポーツ大会の開催
40歳～49歳	ウォーキングの普及	健康診断の普及啓発	健康・スポーツ講座の開催
50歳～59歳	ウォーキングの普及	健康診断の普及啓発	生活習慣病に関する講演会の開催
60歳～69歳	ウォーキングの普及	健康診断の普及啓発	健康・スポーツ講座の開催
70歳～79歳	ウォーキングの普及	健康診断の普及啓発	健康・スポーツ講座の開催
80歳以上	ウォーキングの普及	生活習慣病に関する講演会の開催	健康・スポーツ講座の開催

問15 災害から地域を守るためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

複数選択回答

選択	全体	割合
避難場所や避難経路マップの作成	185	25.1%
防災資機材等の整備	132	17.9%
防災(水防)訓練の実施	112	15.2%
応急手当等普通救命講習会開催	93	12.6%
防災意識を高める講演会の開催	84	11.4%
自主防災組織の強化	74	10.0%
災害用居住者名簿の整備	50	6.8%
未回答(その他)	8	1.1%
合計	738	100.0%

男性	割合	女性	割合
79	22.3%	104	28.8%
64	18.0%	66	18.3%
55	15.5%	55	15.2%
39	11.0%	52	14.4%
51	14.4%	31	8.6%
39	11.0%	32	8.9%
28	7.9%	21	5.8%



年齢別にみる理由

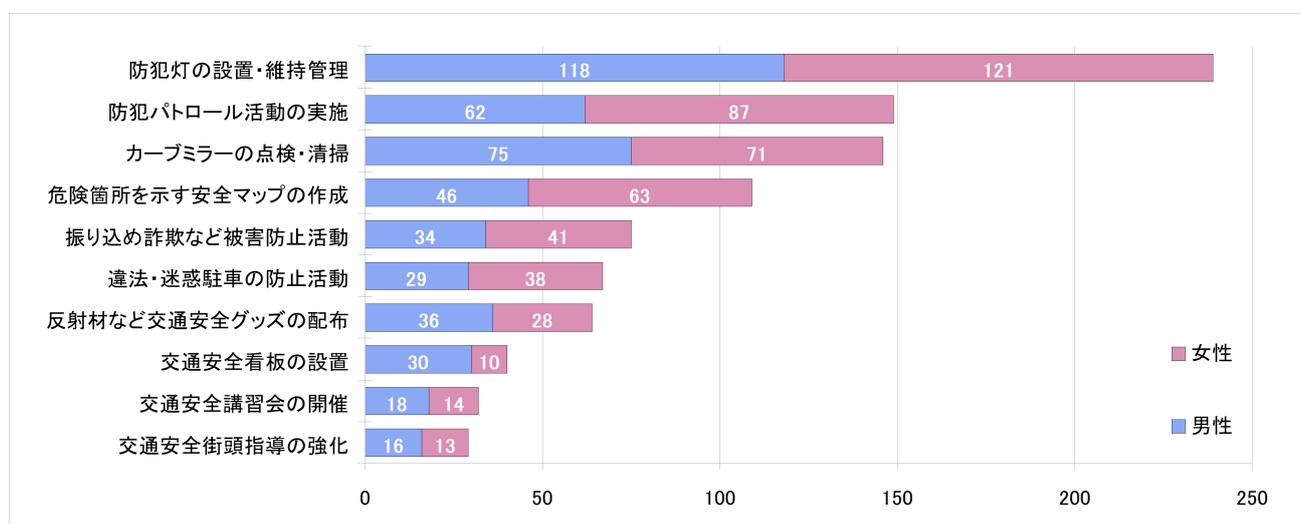
年齢	1位	2位	3位
16歳～19歳	避難場所や避難経路マップの作成	防災資機材等の整備	防災(水防)訓練の実施
20歳～29歳	避難場所や避難経路マップの作成	防災(水防)訓練の実施	防災資機材等の整備
30歳～39歳	避難場所や避難経路マップの作成	防災(水防)訓練の実施	防災資機材等の整備
40歳～49歳	避難場所や避難経路マップの作成	防災資機材等の整備	防災(水防)訓練の実施
50歳～59歳	避難場所や避難経路マップの作成	防災資機材等の整備	防災(水防)訓練の実施
60歳～69歳	避難場所や避難経路マップの作成	防災資機材等の整備	応急手当など普通救命講習会の開催
70歳～79歳	防災意識を高める講演会の開催	避難場所や避難経路マップの作成	自主防災組織の強化
80歳以上	避難場所や避難経路マップの作成	防災意識を高める講演会の開催	防災(水防)訓練の実施

問16 犯罪や交通事故から地域住民を守るためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

複数選択回答

選択	全体	割合
防犯灯の設置・維持管理	242	24.8%
防犯パトロール活動の実施	152	15.6%
カーブミラーの点検・清掃	150	15.4%
危険箇所を示す安全マップの作成	111	11.4%
振り込め詐欺など被害防止活動	76	7.8%
違法・迷惑駐車防止活動	69	7.1%
反射材など交通安全グッズの配布	65	6.7%
交通安全看板の設置	40	4.1%
交通安全講習会の開催	32	3.3%
交通安全街頭指導の強化	30	3.1%
未回答(その他)	8	0.8%
合計	975	100.0%

男性	割合	女性	割合
118	25.4%	121	24.9%
62	13.4%	87	17.9%
75	16.2%	71	14.6%
46	9.9%	63	13.0%
34	7.3%	41	8.4%
29	6.3%	38	7.8%
36	7.8%	28	5.8%
30	6.5%	10	2.1%
18	3.9%	14	2.9%
16	3.4%	13	2.7%



年齢別にみる理由

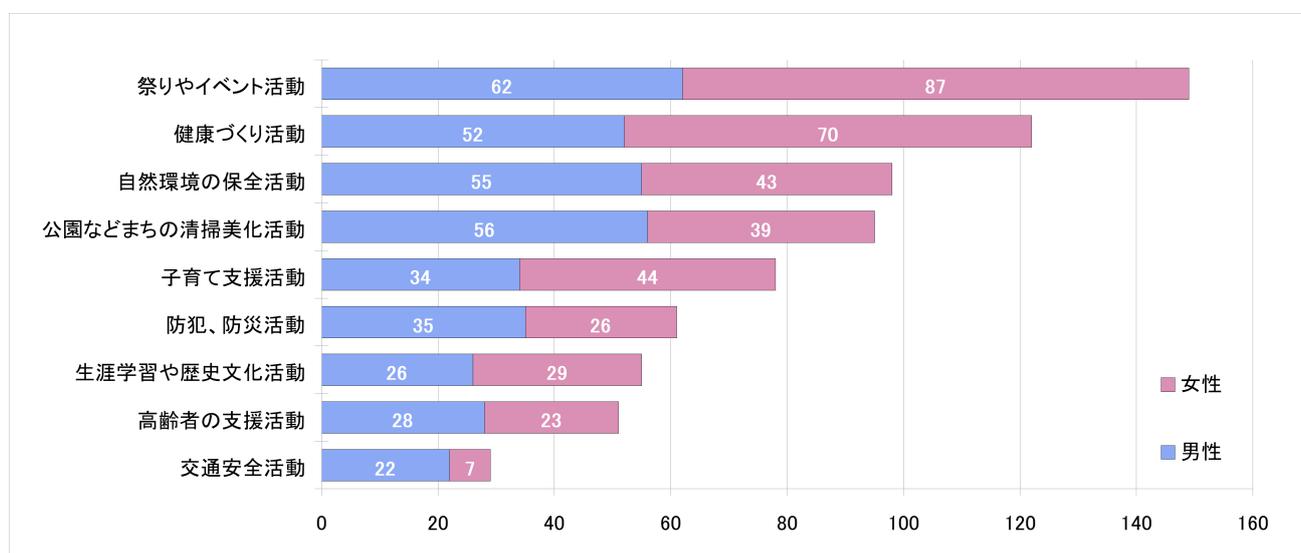
年齢	1位	2位	3位
16歳～19歳	防犯灯の設置・維持管理	防犯パトロール活動の実施	カーブミラーの点検・清掃
20歳～29歳	防犯灯の設置・維持管理	防犯パトロール活動の実施	カーブミラーの点検・清掃
30歳～39歳	防犯灯の設置・維持管理	防犯パトロール活動の実施	カーブミラーの点検・清掃
40歳～49歳	防犯灯の設置・維持管理	カーブミラーの点検・清掃	防犯パトロール活動の実施
50歳～59歳	防犯灯の設置・維持管理	カーブミラーの点検・清掃	危険箇所を示す安全マップの作成
60歳～69歳	防犯灯の設置・維持管理	カーブミラーの点検・清掃	危険箇所を示す安全マップの作成
70歳～79歳	防犯灯の設置・維持管理	防犯パトロール活動の実施	カーブミラーの点検・清掃
80歳以上	防犯パトロール活動の実施	防犯灯の設置・維持管理	カーブミラーの点検・清掃

問17 どのようなまちづくり活動に参加したいですか。

複数選択回答

選択	全体	割合
祭りやイベント活動	151	19.8%
健康づくり活動	123	16.1%
自然環境の保全活動	99	13.0%
公園などまちの清掃美化活動	95	12.5%
子育て支援活動	80	10.5%
防犯、防災活動	62	8.1%
生涯学習や歴史文化活動	56	7.3%
高齢者の支援活動	52	6.8%
交通安全活動	29	3.8%
未回答(その他)	16	2.1%
合計	763	100.0%

男性	割合	女性	割合
62	16.8%	87	23.6%
52	14.1%	70	19.0%
55	14.9%	43	11.7%
56	15.1%	39	10.6%
34	9.2%	44	12.0%
35	9.5%	26	7.1%
26	7.0%	29	7.9%
28	7.6%	23	6.3%
22	5.9%	7	1.9%



年齢別にみる理由

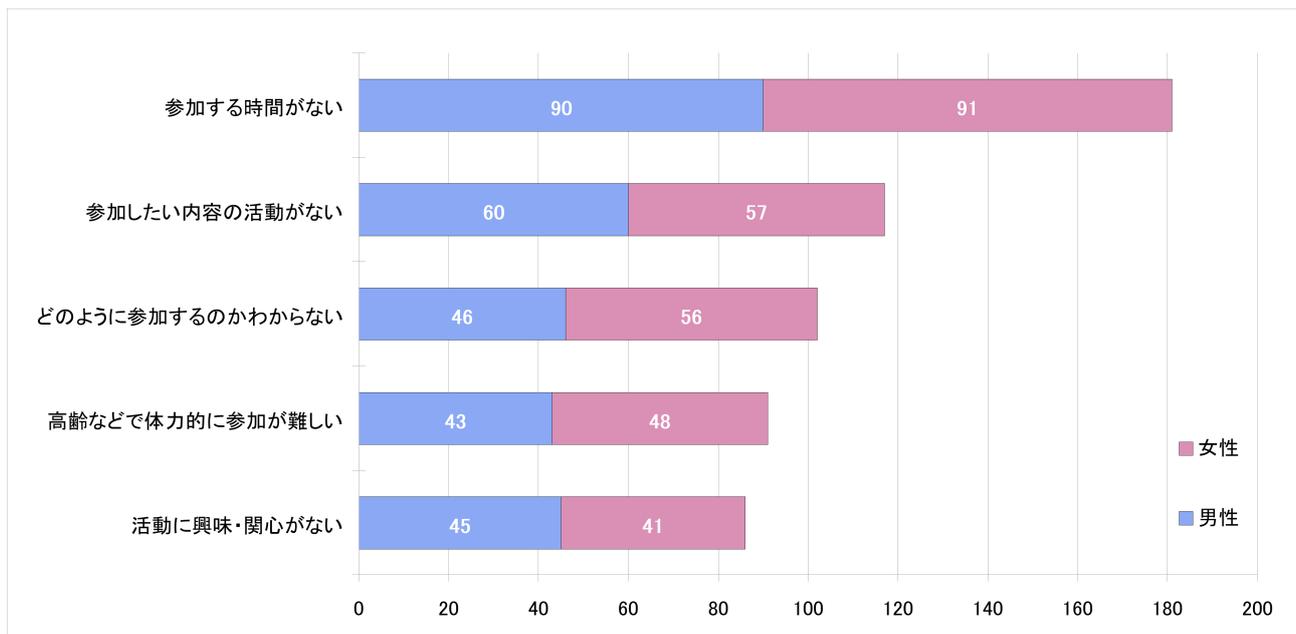
年齢	1位	2位	3位
16歳～19歳	祭りやイベント活動	自然環境の保全活動	公園などまちの清掃美化活動
20歳～29歳	祭りやイベント活動	子育て支援活動	健康づくり活動
30歳～39歳	子育て支援活動	祭りやイベント活動	公園などまちの清掃美化活動
40歳～49歳	祭りやイベント活動	子育て支援活動	自然環境の保全活動
50歳～59歳	健康づくり活動	自然環境の保全活動	祭りやイベント活動
60歳～69歳	健康づくり活動	公園などまちの清掃美化活動	生涯学習や歴史文化活動
70歳～79歳	健康づくり活動	自然環境の保全活動	高齢者の支援活動
80歳以上	健康づくり活動	公園などまちの清掃美化活動	高齢者の支援活動

問18 参加出来ないときの理由は何ですか。

複数選択回答

選択	全体	割合
参加する時間がない	182	30.6%
参加したい内容の活動がない	121	20.4%
どのように参加するのかわからない	102	17.2%
高齢などで体力的に参加が難しい	94	15.8%
活動に興味・関心がない	87	14.6%
未回答(その他)	8	1.3%
合計	594	100.0%

男性	割合	女性	割合
90	31.7%	91	31.1%
60	21.1%	57	19.5%
46	16.2%	56	19.1%
43	15.1%	48	16.4%
45	15.8%	41	14.0%



年齢別にみる理由

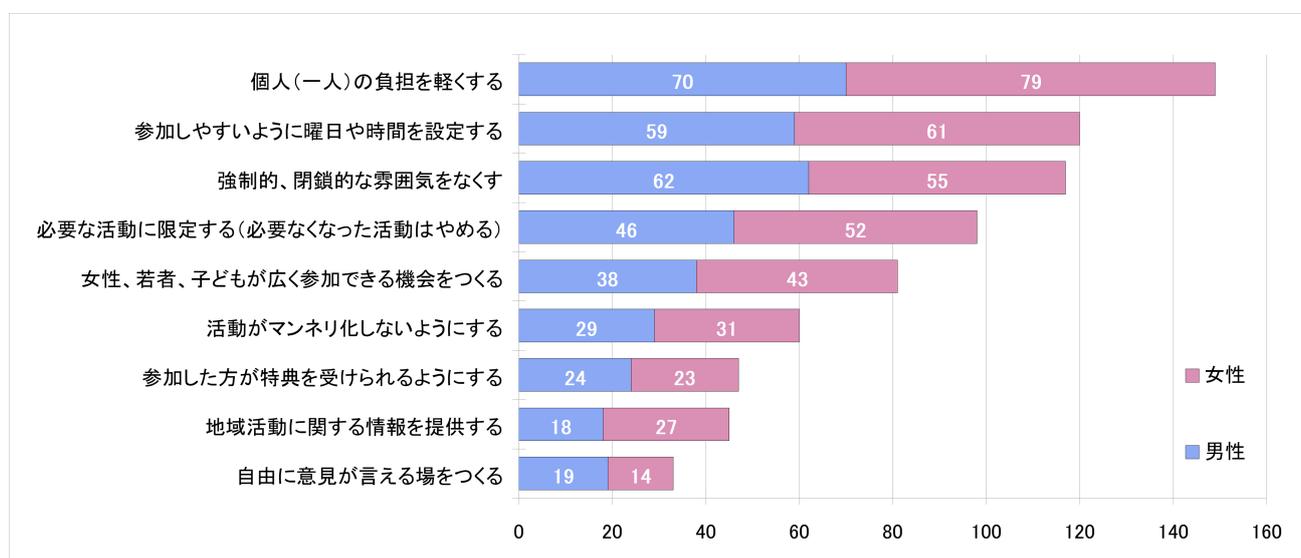
年齢	1位	2位	3位
16歳～19歳	参加する時間がない	活動に興味・関心がない	どのように参加するのかわからない
20歳～29歳	参加する時間がない	活動に興味・関心がない	どのように参加するのかわからない
30歳～39歳	参加する時間がない	どのように参加するのかわからない	活動に興味・関心がない
40歳～49歳	参加する時間がない	参加したい内容の活動がない	活動に興味・関心がない
50歳～59歳	参加する時間がない	参加したい内容の活動がない	活動に興味・関心がない
60歳～69歳	参加する時間がない	参加したい内容の活動がない	どのように参加するのかわからない
70歳～79歳	高齢などで体力的に参加が難しい	参加したい内容の活動がない	どのように参加するのかわからない
80歳以上	高齢などで体力的に参加が難しい	参加したい内容の活動がない	どのように参加するのかわからない

問19 まちづくり活動に多くの人に参加するためには、どのようなことが必要だと思いますか。

複数選択回答

選択	全体	割合
個人(一人)の負担を軽くする	150	19.6%
参加しやすいように曜日や時間を設定する	123	16.0%
強制的、閉鎖的な雰囲気をつくす	118	15.4%
必要な活動に限定する(必要なくなった活動はやめる)	99	12.9%
女性、若者、子どもが広く参加できる機会をつくる	81	10.6%
活動がマンネリ化しないようにする	61	8.0%
参加した方が特典を受けられるようにする	47	6.1%
地域活動に関する情報を提供する	47	6.1%
自由に意見が言える場をつくる	35	4.6%
未回答(その他)	6	0.8%
合計	767	100.0%

男性	割合	女性	割合
70	19.2%	79	20.5%
59	16.2%	61	15.8%
62	17.0%	55	14.3%
46	12.6%	52	13.5%
38	10.4%	43	11.2%
29	7.9%	31	8.1%
24	6.6%	23	6.0%
18	4.9%	27	7.0%
19	5.2%	14	3.6%



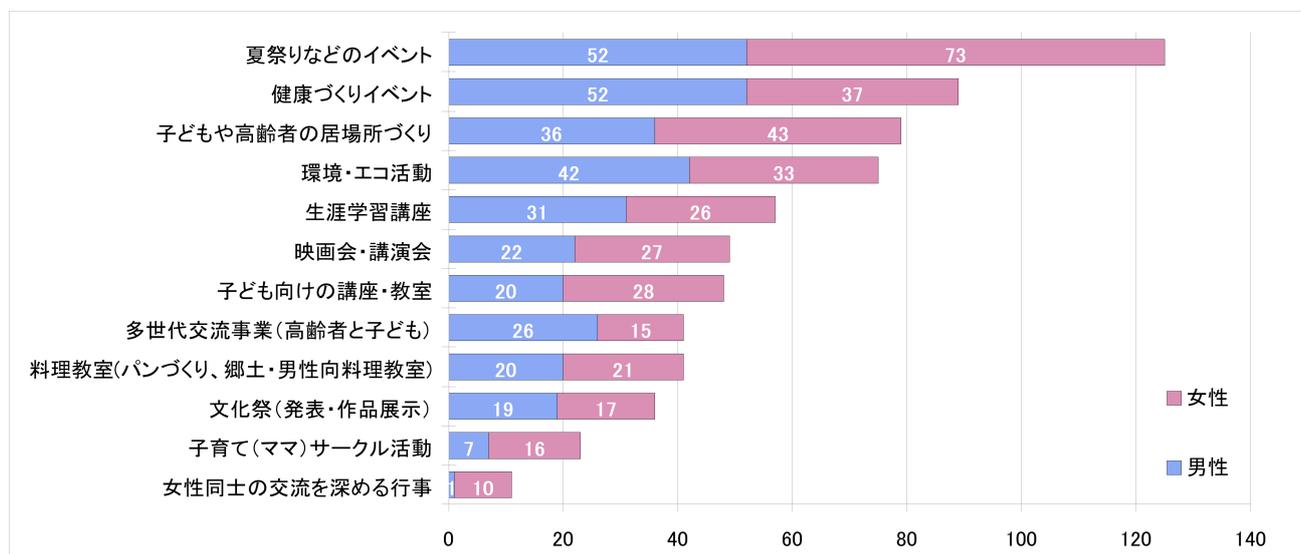
年齢別にみる理由

年齢	1位	2位	3位
16歳～19歳	強制的、閉鎖的な雰囲気をつくす	個人(一人)の負担を軽くする	女性、若者、子どもが広く参加できる機会をつくる
20歳～29歳	個人(一人)の負担を軽くする	参加しやすいように曜日や時間を設定する	必要な活動に限定する(必要なくなった活動はやめる)
30歳～39歳	個人(一人)の負担を軽くする	参加しやすいように曜日や時間を設定する	必要な活動に限定する(必要なくなった活動はやめる)
40歳～49歳	個人(一人)の負担を軽くする	必要な活動に限定する(必要なくなった活動はやめる)	参加しやすいように曜日や時間を設定する
50歳～59歳	個人(一人)の負担を軽くする	参加しやすいように曜日や時間を設定する	強制的、閉鎖的な雰囲気をつくす
60歳～69歳	個人(一人)の負担を軽くする	強制的、閉鎖的な雰囲気をつくす	必要な活動に限定する(必要なくなった活動はやめる)
70歳～79歳	個人(一人)の負担を軽くする	強制的、閉鎖的な雰囲気をつくす	参加しやすいように曜日や時間を設定する
80歳以上	参加しやすいように曜日や時間を設定する	個人(一人)の負担を軽くする	女性、若者、子どもが広く参加できる機会をつくる

問20 地域で取り組んでほしい事業・行事は何ですか。

複数選択回答

選択	全体	割合	男性	割合	女性	割合
夏祭りなどのイベント	126	18.0%	52	15.9%	73	21.1%
健康づくりイベント	91	13.0%	52	15.9%	37	10.7%
子どもや高齢者の居場所づくり	80	11.4%	36	11.0%	43	12.4%
環境・エコ活動	76	10.9%	42	12.8%	33	9.5%
生涯学習講座	58	8.3%	31	9.5%	26	7.5%
映画会・講演会	50	7.1%	22	6.7%	27	7.8%
子ども向けの講座・教室	48	6.9%	20	6.1%	28	8.1%
多世代交流事業(高齢者と子ども)	43	6.1%	26	7.9%	15	4.3%
料理教室(パンづくり、郷土・男性向料理教室)	42	6.0%	20	6.1%	21	6.1%
文化祭(発表・作品展示)	36	5.1%	19	5.8%	17	4.9%
子育て(ママ)サークル活動	23	3.3%	7	2.1%	16	4.6%
女性同士の交流を深める行事	11	1.6%	1	0.3%	10	2.9%
未回答(その他)	16	2.3%				
合計	700	100.0%				



年齢別にみる理由

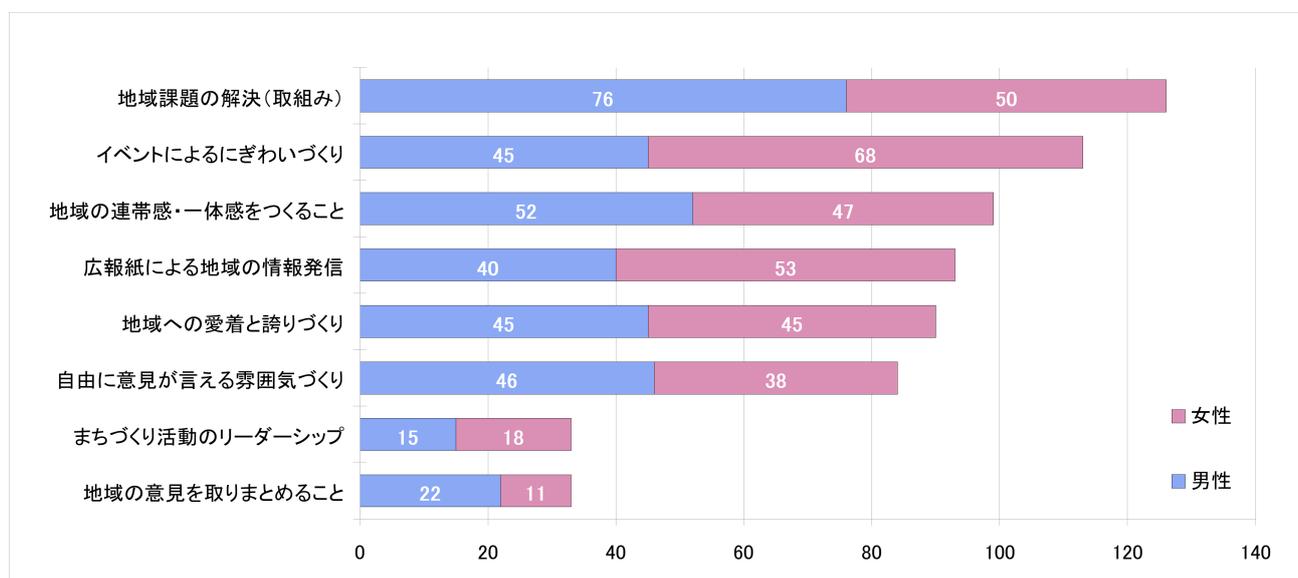
年齢	1位	2位	3位
16歳～19歳	夏祭りなどのイベント	環境・エコ活動	映画会・講演会
20歳～29歳	夏祭りなどのイベント	子育て(ママ)サークル活動	料理教室(パンづくり、郷土・男性向料理教室)
30歳～39歳	夏祭りなどのイベント	子ども向けの講座・教室	環境・エコ活動
40歳～49歳	子ども向けの講座・教室	環境・エコ活動	夏祭りなどのイベント
50歳～59歳	健康づくりイベント	環境・エコ活動	夏祭りなどのイベント
60歳～69歳	健康づくりイベント	子どもや高齢者の居場所づくり	生涯学習講座
70歳～79歳	生涯学習講座	健康づくりイベント	子どもや高齢者の居場所づくり
80歳以上	健康づくりイベント	子どもや高齢者の居場所づくり	多世代交流事業(高齢者と子ども)

問21 まちづくり活動に期待することは何ですか。

複数選択回答

選択	全体	割合
地域課題の解決(取組み)	128	18.4%
イベントによるにぎわいづくり	114	16.4%
地域の連帯感・一体感をつくること	104	14.9%
広報紙による地域の情報発信	94	13.5%
地域への愛着と誇りづくり	90	12.9%
自由に意見が言える雰囲気づくり	86	12.3%
まちづくり活動のリーダーシップ	34	4.9%
地域の意見を取りまとめること	34	4.9%
未回答(その他)	13	1.9%
合計	697	100.0%

男性	割合	女性	割合
76	22.3%	50	15.2%
45	13.2%	68	20.6%
52	15.2%	47	14.2%
40	11.7%	53	16.1%
45	13.2%	45	13.6%
46	13.5%	38	11.5%
15	4.4%	18	5.5%
22	6.5%	11	3.3%



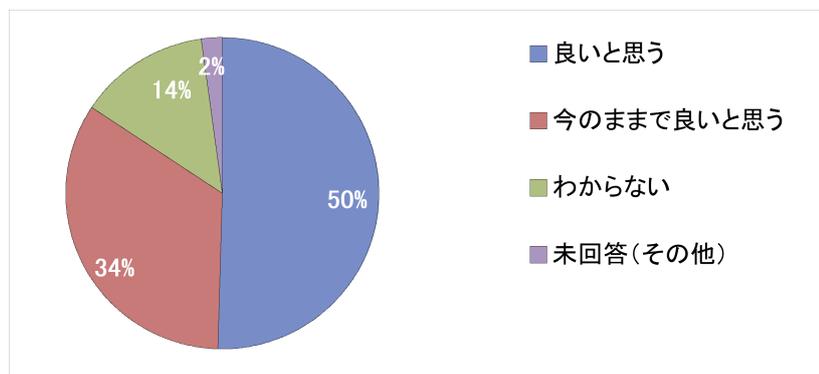
年齢別にみる理由

年齢	1位	2位	3位
16歳～19歳	イベントによるにぎわいづくり	地域課題の解決(取組み)	自由に意見が言える雰囲気づくり
20歳～29歳	地域課題の解決(取組み)	イベントによるにぎわいづくり	自由に意見が言える雰囲気づくり
30歳～39歳	イベントによるにぎわいづくり	地域課題の解決(取組み)	地域への愛着と誇りづくり
40歳～49歳	地域課題の解決(取組み)	イベントによるにぎわいづくり	地域への愛着と誇りづくり
50歳～59歳	地域課題の解決(取組み)	自由に意見が言える雰囲気づくり	広報紙による地域の情報発信
60歳～69歳	自由に意見が言える雰囲気づくり	地域への愛着と誇りづくり	地域の連帯感・一体感をつくること
70歳～79歳	地域の連帯感・一体感をつくること	地域課題の解決(取組み)	イベントによるにぎわいづくり
80歳以上	地域の連帯感・一体感をつくること	広報紙による地域の情報発信	地域への愛着と誇りづくり

問22 地域内の団体名や学校名や公共施設名などに「鮎之瀬」の名称を入れることにどう思います

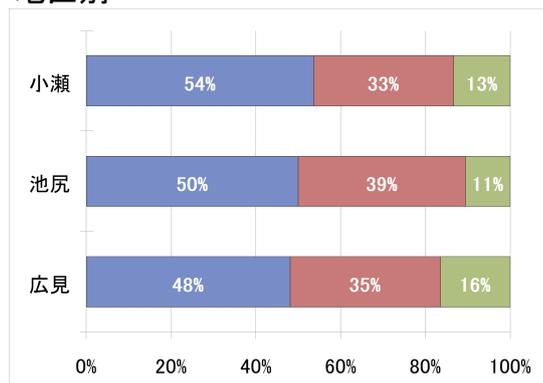
選択	全体	割合
良いと思う	209	50.5%
今のままで良いと思う	140	33.8%
わからない	56	13.5%
未回答(その他)	9	2.2%
合計	414	100.0%

男性	割合	女性	割合
100	51.3%	109	51.9%
69	35.4%	71	33.8%
26	13.3%	30	14.3%

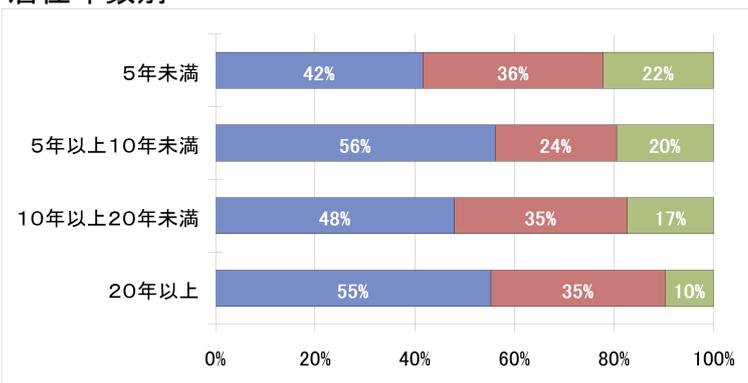


その他回答
「どちらでも良い」
「他の名称が良い」等

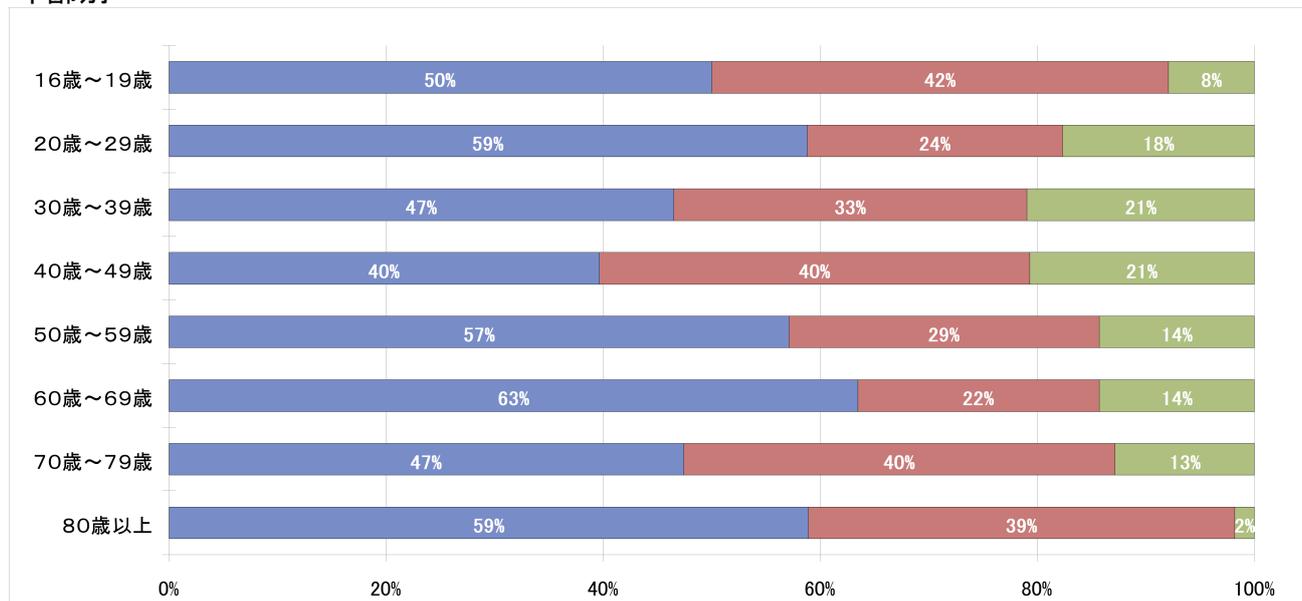
地区別



居住年数別



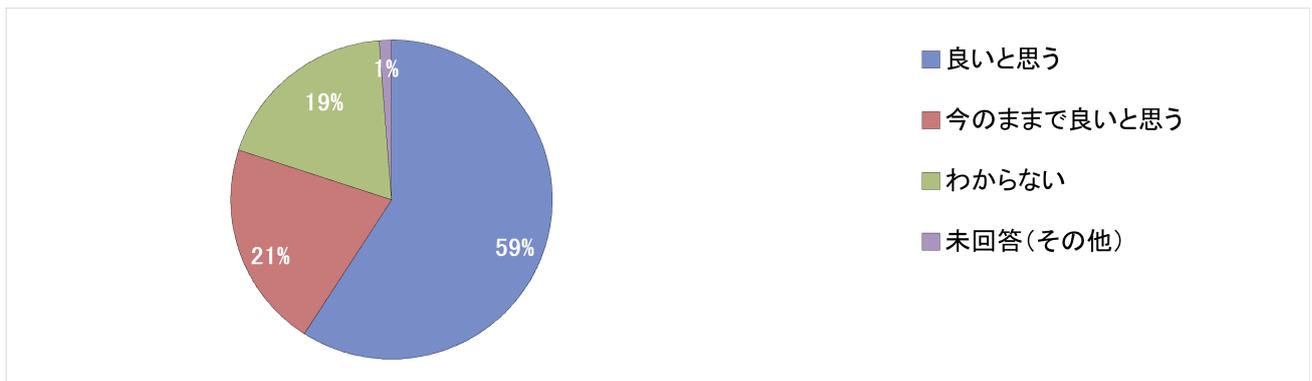
年齢別



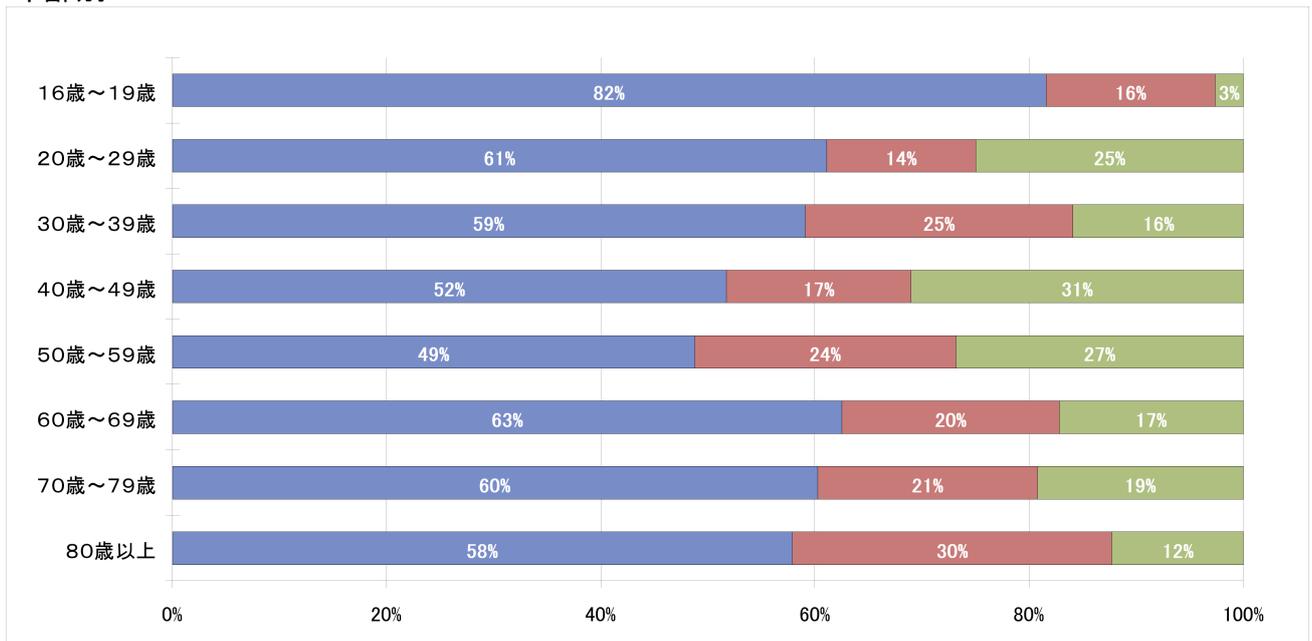
問23 地域内の各種団体が一緒になって活動することにどう思いますか。

選択	全体	割合
良いと思う	249	59.1%
今のままで良いと思う	88	20.9%
わからない	79	18.8%
未回答(その他)	5	1.2%
合計	421	100.0%

男性	割合	女性	割合
117	58.8%	127	60.2%
46	23.1%	41	19.4%
36	18.1%	43	20.4%



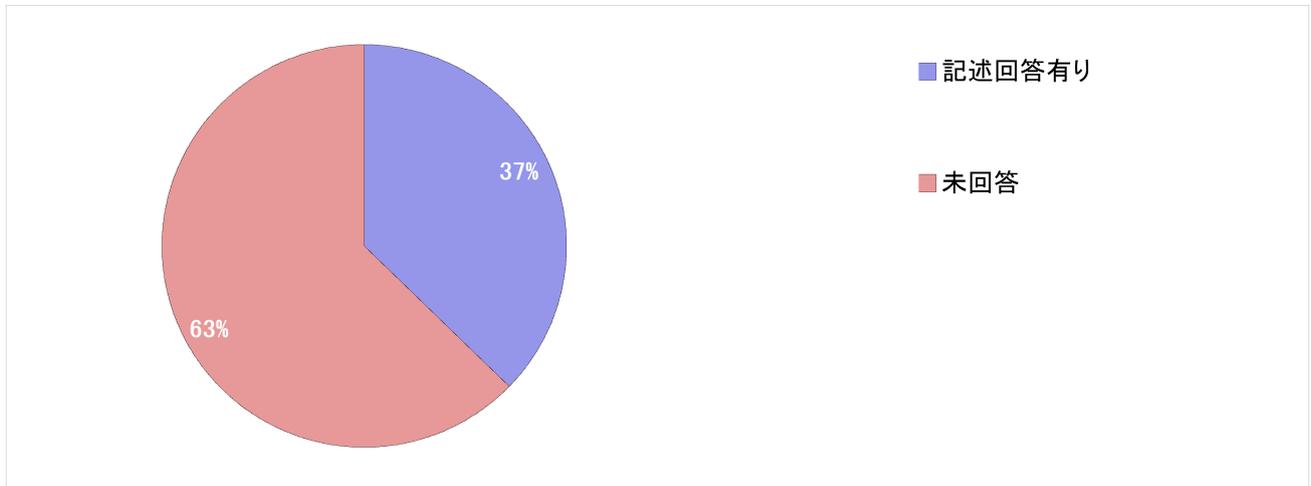
年齢別



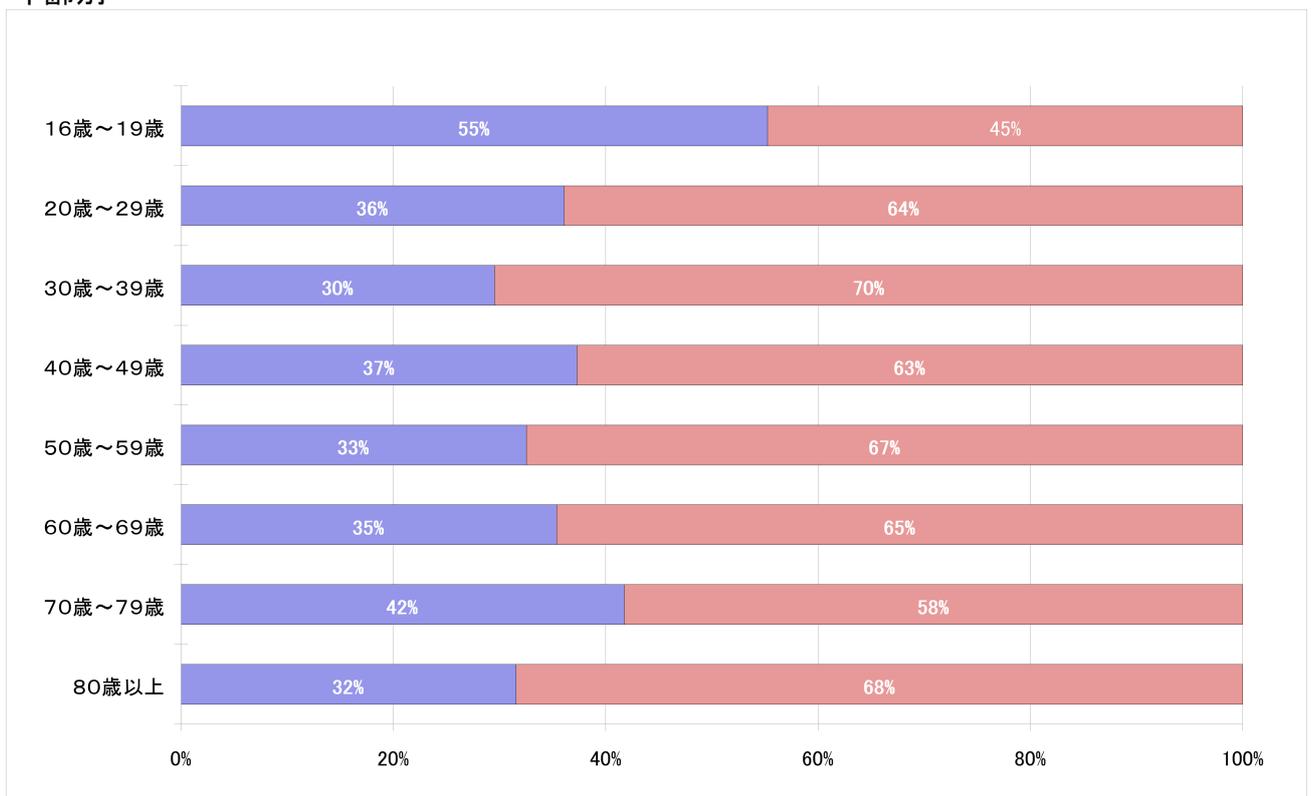
記述設問 回答率

選択	全体	割合
記述回答有り	157	37.3%
未回答	264	62.7%
合計	421	100.0%

男性	割合	女性	割合
69	34.3%	84	39.4%
132	65.7%	129	60.6%



年齢別



問24 あなたの思う地域の自慢を教えてください。

16～19歳

緑がいっぱいあるところ！挨拶してくれるし気軽に話しかけてくれるひとがいること！
鵜飼が有名なところ。緑が多く自然と触れ合う機会の多いところ
田舎
長良川がきれいで自然豊かなところ
小学校は遠いが、無料でバスがある。
犯罪が少ない→治安が良い
無農薬の美味しい野菜が親戚から頂ける。ハサミや爪切り等が必ず貝印等の地域メーカー。
多くの人が挨拶を笑顔で返してくれる
自然がたくさんあって、施設もよく整備されている
自然
小瀬鵜飼
丁度よく田舎
何もないこと
みんな明るく元気があるのと、高齢者の方達が暖かく見守ってくれたりしてくれること
お菓子くれる人がいる
自然が美しいところ
刃物のまち
自然が多い
自然豊かなところ
みんな体力がある
野山や田畑など、自然が豊かであること。災害に関して安全だと感じる。近所の人々の中の繋がりが面白い、楽しいこと(おすそ分けとかあたたかい)。

20～29歳

鵜飼 刃物(伝統文化)
親切な人が多い
自然豊か、田舎すぎず、ほどよく便利
自然がたくさんで、夜の散歩が気持ちいい
フレンドリーな関係
近所の方が良い人でよかった
近くに長良川があり、鵜飼がさかんであること
自然が豊かであること。穏やかな雰囲気
鵜飼
自然豊か
水が美味しい
めっちゃ静か。あと自分の家の近くの住民の人はいい人だらけ
夜、田んぼから聞こえてくる鈴虫や蛙の鳴き声

30～39歳

インターが近い、ある
まだ引っ越してきて1年半なので、自慢ではないかもしれませんが、程よく田舎で騒音もなく、車があれば岐阜市中心部へも近いので、暮らしやすいです。
生活はしやすいです。
自然豊か
鶺鴒
親子ともに歳の近い家庭が多くコミュニケーションが取りやすいところ
刃物の会社が多いことです。
水道水がおいしい
小瀬鶺鴒
刃物祭り
小瀬鶺鴒い

40～49歳

ほどよく田舎(自然が多い、長良川、田畑が多い。でも買い物等で困ることも少ない)。歴史的遺産(遺跡)が多い。 ex.弥勒寺官衛遺跡群、小瀬鶺鴒など
静か
鮎、川、鶺鴒、円空
古墳、長良川
小瀬鶺鴒、治安
校区内に伝統なる小瀬鶺鴒がある事。
毎朝、子どもたちの登校に見守り隊の方が付き添って下さってます。とてもありがたいです。
豊かな自然が残っていること。小瀬鶺鴒など良き伝統が残っていること。
鶺鴒
鮎之瀬
自然がすぐそばにある事。川の水がとても綺麗
遊歩道が近くにあって運動できること。
自然豊か

50～59歳

水がきれい、お米がおいしい
自然環境が自慢です。五本杉のところもステキだし、長良川もとてもステキです。小瀬の川の所小道やトンネル、鮎之瀬大橋の下の岩やすごくステキな自然がいっぱいで大好きです。
自然、歴史
伝統と歴史のある小瀬鶺鴒。水道水がおいしい
とても暮らしやすいです
広見ではボランティアで遊歩道を整備している方たちがいる。今はコロナで開催されていないが社協広見支部としてサロンで高齢者の集まりもやっている、一部の人しか、知られていないと思うのでいろいろな活動がわかるといい。
自然がたくさんある。車があればわりと街に近い
自然が豊かである。地域の宝である子供を地域で育てようとする意識が高い。
静かでわりと自然が豊かなところ
小瀬鶺鴒
長良川に生息するカワセミなど。この環境を次世代につなげる努力を続けたい。
静かで夜間でも明るく住みやすいと思います。町内会費も安く助かっています。
小瀬鶺鴒
自然豊か
豊かな自然 川

60～69歳

住みやすい。小瀬鶉飼
清流長良川がすぐ近くにあり、伝統の小瀬鶉飼が行われていることなど。
静かな地区、夜は特に
歴史的遺産が鮎之瀬地区には多くあると思います。
川、温泉、緑が多く環境がいいところ。関は刃物の町ですしね。
伝統行事が残っている
自然が豊か
自然環境防犯防災がよく住みやすい
住みやすい
山あり川あり、春夏秋冬はつきりあり、程よい便利さ(生活上著しい不便がない)
広見ICふれあい遊歩道で四季を楽しんでほしいです。
小瀬鶉飼
近くに長良川があり自然が豊かで美しい地域だと思います
小瀬鶉飼
みんなで声をかけ合っている。できた野菜のおすそ分け。自主的に目についた所の草引きをしている。体調を崩した人をみんなで心配している。
自然災害が少ない場所。名古屋へ直通で行けるバス停が近い
鶉飼
長良川
街の中心部なのに自然が豊か
気楽に生活できる
自然

70～79歳

毎日使うお水のおいしいことに感謝しています。ありがとう
住民者に聞くと慣れてしまっていて当たり前になっていることにびっくりしています。
円空さんゆかりの地又長良川と鶉飼又遺跡の多い地で有る
清らかな長良川。小瀬鶉飼
他人の干渉をしない
清流長良川。小瀬鶉飼
地域の中央を流れる長良川の景観。円空上人入定の地、弥勒寺。小瀬鶉飼
住居と田畑(緑)とのバランスの良い所(それぞれがほぼまとまっている)
弥勒寺付近、文化の香りもあり、散策もよい
災害もなく、ICのあり、商業施設もあり、生活しやすい。また、遊歩道が整備され広見地区を知ってほしい。
子供の元気な姿にあふれているところ
環境が良く住みやすいところ
小瀬鶉飼は情緒もあり、見学もしやすく、他の所と比べても十分自慢できます。住人は温かく、真摯な人が多い。
小瀬鶉飼、(宮内庁式部職鶉匠)。小洞古墳群(広見)、弥勒寺(円空)。
長良川清流、寺院、神社多し。小瀬獅子舞神楽、松尾山、関広見ICふれあい遊歩道。
水、山(清流山河)の自然環境が豊富
小瀬鶉飼がある
自然に恵まれ騒音もなく暮らしやすい。
会社が近くにないため、騒音がない。
良い環境、水がおいしい
自然環境保全に高齢者が中心に行っている。課題も多いが
小瀬鶉飼。
自然環境が良い(空気がキレイ)。皆さん協力的でもめ事が少ない

80歳以上

小瀬一番町永昌寺の銀杏の大木、関市の有形文化財に認定されています。小瀬鵜飼。各務用水の取水口
人間の上下がない
皆様、優しくて日々感謝しています。90歳近いババですが今後ともよろしく願います。みのにしき。黒豆。お金ではないところに信念を感じる。戦後、日本人が忘れがちな「志」であると思う。
小瀬という地域は東京方面、関西方面、北陸、伊勢方面とどこの地域に行こうと思っても、すぐ高速道路に乗れる素晴らしい、鮎之瀬地域だと思います。
自然に恵まれ健康的で落ち着いて暮らせる場所です。地元で鵜飼見物ができます。高速道路のICに近く便利です
子供たちの元気な挨拶(出会ったとき)
民生委員、福祉委員の皆様にはお世話になっております。ありがとうございます。
自治会活動が活発であること。
町のゴミ草を気づいたら進んで行く
弥勒寺遺跡のあること。鵜飼のあること。関市の一大名所が当地域に集中している
地域に住んでいる人が仲が良いこと
空気が良い
円空、鵜飼
思いやり助け合い信頼できる

問25 あなたの意見を自由に記入してください。

自治会・コミュニティ

16～19歳

広見は古い地区と新しい地区が昔から分断しすぎ。お年寄りの意見が強すぎて、若い人たちが言えない雰囲気。子供がどんどん減っても昔からの行事が変わらずあり、結局大人にしわ寄せがくる。車がないと何もできない。(大人に頼るしかない)
少子化進行を改善させるために地域内でカップルができるような交友関係を築けるような所を作してほしい。個人的に関市長と、交流出来る場が学生の時あったのが、とても幼いながら楽しい行事であったのを覚えています。これからも続けて欲しいと思います。
本町のような集まりやすい場所を作る事

20～29歳

自治会の解散
コロナで近所の人と集まることがないのが正直ありがたい。深く関わりすぎるのも疲れてしまうことがある。仕方ないかもしれないけど、今共働きでせつかくの休みに町内のあつまりはなかなか大変。罰金も大きい。もっと集まりなく、街も綺麗に保たれている所の話をしきと羨ましいなどおもうことはあります。

30～39歳

地域の風習が必要のないものが多く参加することが難しい。時間がない子育て世帯が損をする内容でとても不満に感じている、廃止してほしい。

40～49歳

賃貸アパートに住んでいるのですが、地域の活動の情報が入ってこないです。スマホで地域の活動が見えるようなアプリがあったらいいなと思いました。もしあるなら、教えていただきたいです。
自治会に入っていないため地域の方との直接交流はありませんが、散歩していると温かく声をかけてくださる方が多いので、きつといい町なんだなと思います。
世代交代してきて、若者が増えてきたのもっと若者の意見を聞いて、今の時代にあった事をした方がいいと思う。行事等を負担のない程度無くしていった方がいいと思う。
仕事や子育てに忙しく、時間があまり取れない人は、なかなか地域に馴染めない。昔から住んでいる人の中に、他所から来た人は入りづらいと感じます。特に子供の行事等で、どこどこに集合と示されているものは、その地域に馴染んでいる人にはわかるけれども、他所から来た人にはわからないものが散見されます。他所から来た人でも受け入れるような取り組みや考え方をもう少し充実してほしい。

50～59歳

地域の高齢化が進み地域の役員などの負担が大きい。若年層が少ない。
今は地域ごとの活動が多いと思うので、小瀬、池尻の方もわからないし、どんな活動してみえるか全然知らない。鮎之瀬ふれあいセンターができてからも、広見からは遠いので一度もいったことないです。いろいろな行事に参加することは好きなので、情報を発信してもらえればと思います。なにかをしようと思うと負担もあると思いますが、みんなが参加しやすい行事があれば盛り上げられるかな
女性の体育部長等は、参加できる人だけの役員でいいと思います。
無意味なコミュニティ活動が多すぎる

60～69歳

これからの地域を守ってくれる人が…。これからの若い人がやってくれるか心配です。自分の生活が大事でボランティアのようなことは…。神社、寺など、これからどうなるのでしょうかね？ 田んぼ、畑も作り手がなく、草ボウボウ空き家も増し…
--

<p>役員人選の仕方を変更すべきだと思います。小瀬地区の各町内の世帯数の名簿を先日見ました。小瀬3番町。小瀬4番町、町内の世帯数がすごく少ない。 小瀬南2丁目、星が丘、小瀬6番町は多かった。体育委員、交通安全委員、消防団等、町内で一人ずつ出すのではなくて、小瀬3.4番町で1人とか、小瀬2～4番町で1人選出にするとか、一人で町内役員重複する地域と小瀬南2丁目のようにめったに役員をやらない地域と差が大きすぎるように感じます。小瀬北に住んでいるものより。</p>
<p>住んでいる団地が高齢化してきている。これからの地域づくりに不安を感じています。市営のバスも通っておらず、将来、車に乗れなくなった事を考えると不安です。 地域全体で(小瀬、池尻、広見といわず)助け合っていく方法を考えていきたいですね</p>
<p>自治会も高齢化が進む中、役まわりも今後大変になってくると思う。</p>
<p>アパート住まいのために広報も配布されず、自治会にも加入していないため、地域の活動について何も知らないでいます。地域に愛着が持てず、災害時などの行動もわからず不安です。</p>

70～79歳

<p>町内会の役員が多すぎる。体育委員(男女)交通安全委員(男女)社会福祉委員(2～4名)青少年育成委員(2名)1名でいいと思います。</p>
<p>社協の活動は瀬尻校下で2支部あり独自の活動をされています。地域委員会発足に向け統一し、1支部にするという意見がありますが、各支部のこれまでの経緯や現状等を踏まえ、関係者の意見を充分把握し、納得のうえで進めていただくようお願いします。</p>
<p>老人にとってはたして住みやすい地域かと問えば、新入居者が非常に多く、だれが住んでいるかも交流もなく、分からないことにより、それほど住みやすい地域環境にはないといえる。こちらから挨拶しても挨拶ができない大人も子供も多くなっている。明るい挨拶ができる人間関係づくりを目指したい。人を疑うことが優先されることが残念であり、人を避けることが傾向として強く感じる10年間と思う。</p>

80歳以上

<p>小瀬区長の後任がまだ決定していないようにきている。小瀬地区のリーダーが不在で、地域の諸問題が解決していくとは思えない。難しい地域だとは思えるが、まとまった行動ができるような配慮をおねがしたい。</p>
<p>①すみやすいところと思って来たが自治会に入る金を自治会長が2万円を取った。外の方は1万5千円で、5千円を取った。今頃年寄りを連れて来て面倒をみれないといった。もう死んだ。 ②回覧板を持ってきて帰りには家具、物品など30品目はなくなった。たいていは道具 ③農地を借りたが畑に入っていたらずら、荒らす、農機具小屋に入って、網など持って行った。</p>
<p>センターが出来て町内は大きく様変わりした。手狭という理由で町内の会合、お日待など全て役員のみとなり、ここ十年間、自治会員会って話すこともなく、年初の役員名簿、この紙一枚の付き合いになってしまった。近所を歩いていても、声掛けも会釈もなく、他所の町の感じがする。自分も入町して50年になるが隣近所だけでなく、町内との付き合いに気を配ってきたと思う。今の若い人達は家族中心で他人とは関わりたくない風潮がありこの人達とうまく連帯感を持てるようになればと思う。追伸 自治会員が集まれば色々な行事が自治会員有志で一泊温泉旅行、子供会、婦人会入っての日帰り旅行(ミカン狩り、初詣、名古屋ドーム他)町内バーベキュー、盆踊りなど集まれば話ができて町内がひとつになった。 これは遠い昔話のような気がする現状では無理かも。</p>
<p>昭和30年代頃までは「向こう3軒両隣り」で社会が成り立ってきました。 今では何でもかんでも行政に「オンブにダッコ」です。 それに偉い人の情も希薄になってきました。 これも時代の流れでしょうか こんな時代だからこそ地域委員会の出番です。 大いに期待しております。頑張ってください。 小瀬、広見、池尻の3地区が力を合わせれば、毛利元就です。 自治会活動が活発であること。しかし前年世襲どまりで、新しい提案と試みがあってもよい。</p>

防犯・交通安全 防災・消防

16～19歳

街灯を増やしてほしい
外からかえってくる時、周りが暗くて不安になるので街灯を増やしてほしい
平日の朝、時々危険な交差点などの道路で、多くの地域の方々や警察官の方々が小学生や中学生の子たちをあいさつしながら見守っていることがすてきな活動で今後も必要なことだと思う。自分の住む地域は外灯が少ないと感じる。
外灯を増やすことで、夜の犯罪にもつながりにくいし、交通安全にもつながると考える。
広見在住なのですが、あまり街灯などがなく薄暗いものが多いので、夜帰りに通ると少し不安
街灯を増やしてほしい
正月やGW後必ず学生の通学路のガードレールが曲がっている。近頃は倉知のジャパンレンタカーの辺りや、消防署の辺り。防犯カメラを増やした方が良いのでは。
大雨が降ると増水して、溢れそうになる用水路があるので、整備し直して欲しい

20～29歳

街灯がもう少し増えると嬉しいです。
街灯の少なさが気になる。交通事故、犯罪の抑止になると思う。
人がいると自動で車を止めさせる横断歩道があると思う！以上！！
夜お店がやってないと真っ暗になってしまうのでもう少し通りに街灯があったら助かるなと思います。三洋堂近くの交差点危険だなと思うことがあります。

30～39歳

道路で遊ぶ子どもが多く危ない。最近スケボーをしに来る中高生くらいの子もいる。
--

40～49歳

河原があるし、街灯は少ないし、夜道暗くて怖いです。何とかありませんか？
上野関線を通勤車両に通らせない。
無駄な交通量と坂道故の速度超過車両で危険である。
住宅道路の通行車両の速度が速くてとても危険。子供含めて皆が安心して生活できない…

50～59歳

248号線に、信号が少ない為道路を渡るのが困難。

60～69歳

池尻地区の関一上野線の道路を道中がせまいのに通勤時間になるとすごいスピードで車が走ります。住んでいる人は困っています。
夜になると街灯が少なく、夜は歩けない。

70～79歳

80歳を目前に生活環境の安全に一抹の不安を感じています。
夜回りの見守りなどは行われているのでしょうか？
・環境整備は、鮎之瀬地域全体で実施する
環境整備は防災(水防)にもつながります。小瀬の用排水路一斉清掃の内容はわかりませんが、池尻と広見についての詳しいことはわかりません。3地区の実地内容を精査し、鮎之瀬地域としての環境整備マニュアルを整備してはどうでしょうか。

公共交通・道路

16～19歳

バスの路線拡大。せめて関市内の高校に通いやすくなるように、バスなどの路線を拡大してほしい。
バスの本数を多くして欲しい
歩道を両側に作って欲しい。道路を広くして欲しい。バスが少なすぎる。
公共交通機関の本数が少ない
病院が遠い

20～29歳

広見ICに入る交差点を常時左折可にしてほしいです。

第1に公共交通機関を増やすこと。

高齢者の自動車事故が後を絶たない今、公共交通機関を増やすことで利便性を高め、高齢者専用の1dayパスや定期券を作ることさらに住み良いまちづくりをすべき。

30～39歳

公共交通が無さすぎる

コミュニティバスのバス停が遠いため、公共施設を利用する場合不便です。

40～49歳

歩道が狭くガタガタしている所が多く、子供が自転車で走っている時、転倒して車道に出るんじゃないかとヒヤッとした事があります。

50～59歳

免許を返納すると交通手段がなくなる

60～69歳

車に乗れなくなったとき、近くに歩いて行けるスーパーがないため、生活用品の購入が思うようにできないのが心配です。

車の免許を返納しても困りごとがなくなるとよい。

今住んでいるところは、市役所や中濃病院など公共で乗れるバスがなく、車が運転できなくなったらと思うと不安。スーパーもあるが歩いていくには遠い

車での行動が多く地域の人とのかかわりが少なく協力することがない。

70～79歳

デマンドタクシー、バス、もう少し使いやすくなるといいです。

自由に使えるようにしてほしいです。

車を乗らないようになったら大変です。コミュニティバス(小瀬用)をまわしてほしい。

ぜひ見直してほしいです

高齢者の免許返納してからの行事にはなかなか大変なこともあります。

今は車に乗るためいいですが、免許証返納したらすごく不便になります。全てが車中心の車社会なので…。自分もそういう暮らしをしてきたけど、免許証返納後はどうなるのかと心配が尽きません。コミュニティバスも本数が少なく不便です。

移動手段が徒歩または自転車しかないので、買い物、通院がすべてに不便。

関市鮎之瀬地区は交通網に優れていると思う。(例えば高速道路網において東西南北どこへでも行くのに便利だと思う。)この利点を生かした道路計画などに力を入れてほしい。

車の運転免許を返納した後の買い物等が不安。

車の免許証を返納したら困る、たちまちに病院や買い物はすぐに困る

高齢者がもっと利用しやすい公共交通機関のバスの本数と、巡回路線が長いと長時間乗っていないといけないので、もう少し乗っている時間を短く便利になるように考えてほしい。帰りは反対廻りで帰れるようになるとか。どこの地域でもイオンマールに行けるようにバスを出してほしい。

80歳以上

細い道路の整備をしてほしい

小瀬区内をコミバスを走ってほしい。市に要望してほしい

今一番悩んでいるのは、自動車が乗れなくなったらどうしたらいいんだろう。家の前にバス停もなく、まずバス停まで行くのが大変です。本当にどこへも行けなくなってしまいます。本当に困ったものです。買い物も病院もどうしたらいいんでしょう？

生活環境・自然保護

16～19歳

道路に生え放題になっている草(鮎の瀬大橋付近特に)は当たると痛いし少し邪魔なのでこまめに手入れしてくれる方がいてほしいなあと思います。

また、音がとてつもなくうるさいバイクもどうかして欲しいです。

一番の願いはこれ以上田畑を潰さないで欲しい(むしろ増やして欲しい)ことです。

田畑は景観の美しさがあるだけでなく、我が国の食料自給率を上げています。しかも田んぼはなんと、生態系の保全や、災害の被害を抑えてくれる(!)などたくさんの良さがあります。米の自給率を上げ田んぼを潰さないために、関高校の生徒達が取り組みをしているほどです。自然の美しく人々のあたたかい地域づくりのために、どうかお願いしたいです。私は通学中に見る豊かな自然(虫や魚、鳥も含め)が大好きなんです。

産業廃棄物の価格を安くしてほしい(家業のため)

ゴミ屋敷のゴミを本人に捨てるように動いて欲しい

夜のバイクの騒音を黙らせて欲しい

20～29歳

自然もあり、飲食店も多くあり、便利はいいほうだと思うが一つどうしても気になることがある。小瀬地区にあるゴミ屋敷があつて以前道路にTVが崩れ落ちていたことがあった。子供やお年寄りなど通りかかった時に当たったら…と思ったらずっとした。蚊も相当多いようなので衛生的にもよくない。火事の危険もある。街並みの景観も損なっているし、他地区、市外の人でも知っているくらい有名なので、小瀬地区のイメージダウンにつながっていると思う。

とにかく見苦しい、地域のためにも何か手立てをうったほうが良い。

ご近所さんの野焼きに大変迷惑しています。私は気管支が弱いので煙でのどをすぐに痛めてしまいます。洗濯物に匂いもつくし、家の中もすぐ臭くなるので窓が開けれません。とにかく臭いし不快でしかないのでも野焼き禁止にしてください。いくつかの県や市では禁止になっているところもあります。住みよいまちづくりを進めるためというならば必要な意見だと思います。

隣接の畑で野焼きするのでやめてほしい。

もう少し買い物ができる店があるといいと思います。コンビニが近くにあつてもファミマが短距離にあるので、違うコンビニにするといいと思います。

あと、夏は川辺でBBQをする人が多いので、ゴミを捨てないような取り組みをすると、よりきれいな町になると思います。

30～39歳

川が近いので夜、バイク(暴走族)の音が本当にうるさい。子供が二人いますが、夏やすごしやすい時期の夜になると(23:00～)ふかして何度も前の道を通っていくのでせつかく苦労して寝かしたのに泣いて起きてしまう。正直何回も警察に電話した。まったく意味ないし、サンダヤ近くでははりこみ(シートベルト?とか?)してるくらいなら夜ほぼ毎日走っているんだからはりこめよ!って思う。こんなところで(秋は野焼きがひどい)子育てはできないので校区外のところへ秋に引っ越します。野焼きのせいで、秋は洗たく干せないし、夜は窓をあけると野焼きのにおいで、とてもじゃないけど寝れないし、子供が咳が止まらなくなる。ぶっちゃけ、いいところなし!

野焼きを禁止してほしい。子供もいて迷惑しているが近所なので伝えられない。

子どもが喜ぶようなイベント・行事があるとよい(夏祭りてきなものや昔遊び等)。

ゴミ屋敷のことを多くの方々から質問されることがあり、返答に困ることがあります。すぐ解決することは難しいですが、地域で何か協力して解決できることはないかと、家庭で話題になることがあります。

40～49歳

自慢というと、立地条件がいいところ、買い物、学校、病院など、いずれも近い個人的な話になるかもしれないが、高速道路の騒音、おそらく舗装のやり方(静音)を考えればより静かになると思う。小瀬あたりの舗装は平等に音が響く。

騒音がひどい!工場の騒音もひどい!

健康被害となっているので、地域として校区内工場・会社に注意すべき!

朝や夜の時間帯の配慮をすべき!住民の理解が必要!

50～59歳

庭木や草が道路まで飛び出しているのに手入れをしていない家があり困っている。
この時期(8月頃)になると道路の端の草がよく育ち、農道的なところの道幅が狭くなり危険を感じます。(困りごとです)
小瀬鵜飼は素晴らしいです。全国から観光に来てもらいたいですね。
長良川などの河川は関市だけで守れるわけではないので、目の前の環境保全が流域全体の保全につながることを意識したい。
静かで夜間でも明るく住みやすいと思います。町内会費も安く助かっています。空地の定期的な草刈り(管理)を持ち主に伝えてほしいです。よろしくお願いします

60～69歳

小瀬鵜飼は魅力です

70～79歳

週二回あるゴミ出しについて皆さんにお願い事。 皆さん、自分さえ良ければ良いという人が見受けられます。奥のほうから手前へ後の人のことも考えて、小さなことからまず一歩ずつ前進してほしいです。
自宅東側山林の枯れ葉が道路及び敷地内舞い込んでくるので困っている
生まれ育ったところに帰ってきたが、周りに田畑が多く消毒、除草剤などの散布が多く、私は過敏症なのですぐ頭が痛くなり気分が悪くなるので困っています。 又、庭で家で出たすべてのごみを燃やす方もいるのでいやです。 老後が心配です。
・「目の前で作られたコメを食べ地域の景観(緑)を守ろう」運動の実施 住みよい地域(環境)とは、一つには周りが緑豊かであることだと思います。コメを作るにはトラクターや草刈り機等は必須の機械です。食べているコメの栽培過程が少しでもわかれば音がうるさいとか道路が土で少し汚れたとかの苦情もなくなり、昔からの地元の人とのコミュニケーションも少しはうまくいくような気がします。
近くに薪ストーブを使っていて、煤や煙、臭いに迷惑している。
鵜飼、遺跡(弥勒寺、大塚古墳、円空入定塚など)の観光資源が多くあることは大変自慢できるが今少し盛り上がり欠ける。

80歳以上

・国道沿いの車道と歩道付近の草が毎年伸びています。景観上も歩行にも邪魔になったりしますのでなんとかならないでしょうか？ ・松尾山登山道が整備されていますが、松尾山から長良川遊歩道や下有知重竹地区へぬける道が昔ありましたがご存じですか？
道路側の畑の草がきれいにされていない(個人の問題)。 学校周辺が草が多い
犬の散歩する方は前よりは非常に守って見えたが、ある一部のかたが守って見えないのでしっかりとしまつしてほしいと思います。

子育て・公園

16～19歳

最近の小学生は室内でゲームをすることが多いけど、小さい子たちが遊べるような整備された公園があると放課後に遊びにくる子供たちでにぎわって地域活性化につながると思う
池尻地区に公園が欲しい
自分が小学生の頃は、年に2, 3回程近所の公民館で子ども会のイベントがあったけど、今はコロナの影響もあり、ほとんどなくなってしまったので、少しずつ復活させることができれば良いな！！
公園を増やす。
放課後や休日などに利用できる勉強スペース(自習室のような)をつくってほしいです。テスト前や長期休暇時に利用したいです。

ですり公園なども、あるにはあるけど、遊具が少なかったり錆びたりして遊べる雰囲気では無い。今、若い世代にはスケートボードが流行っていて、広見の高架下なのでできるけど、車の通りがあって、なかなか出来ないの、パークなどを作っていただきたい。
スケートボード場を作してほしい
給食料金無料。高校生までの医療費無料。Uターン就職の斡旋。子育て世代へのサポート充実。→出産費用負担額軽減。バスの路線拡大。せめて関市内の高校に通いやすくなるように、バスなどの路線を拡大してほしい。少子化進行を改善させるために地域内でカップルができるような交友関係を築けるような所を作してほしい。
20～29歳
子供たちが楽しく住める街にしてほしい。
せっかく子供が増えているのに町内や子供の目線に有刺鉄線が多いのがとても危険だなおもいます。あんな錆びたものが目に刺さったり手にささったら怖いとおもいます。せっかく家や子供が増えているなら子育てしやすく子供が安全な所にしたらもっと人も増えたりするのでは？とおもいます。
30～39歳
公園にいつもごみが落ちていて悲しい気持ちになります。
1年半前に家族で愛知県から引っ越してきました。夫はもともとこの地域で生まれ育ったのですが、私は全く知らない土地なので、もちろん知り合いもおらず毎日娘たちと近所を散歩したりするだけでした。でも鮎之瀬ふれあいセンターでやっているせきっこひろばの存在を知り、娘2人と一緒に参加したところ、たくさんの同じ子育てをするお母さん方と出会い、お知り合いになれ、子育ての悩みなどを話せるばができて、引っ越してきてよかったなと思います。
子どもに関する活動を広げてほしい。
子育て家庭も多いと思うので、複合遊具などがある公園を整備して欲しい
40～49歳
子供が遊べる公園がない。公衆トイレもなく困る。一か所でもいいので子供が集まって遊べる公園が欲しい。高齢の方も使える運動器具と一緒に整備してくれれば集いの場になる。各務原市の桐野公園が広見か池尻辺りに欲しい！
高速道路の下の用水のようなエリアをゲートボール場のほかにも活用してほしい。誰でも使っていいバスケのコート、サッカーのコートなど。中学、高校の制服、女子も男子も好きなのをきれいに、LGBTなど関係なく着てOKな雰囲気づくり。小学生のランドセル中身重すぎるiPadが増えてさらに重くなった。おいてきてもいい教科書は持ち帰らせないよう全校で取り組んでほしい。(現状クラスによって違う)将来腰痛になったら身長が伸びにくくなる心配、全学校の校則の見直し。ブラック校則撤廃 公民館開放してほしい。行き場のない子供とかいつでもいいようにしてほしい。
道路で遊ぶ親子に困っている。狭い道の両側に家がある所でボールを使うので、ぶつけられる、敷地にて不法侵入する、を何回もされている。我が家以外の近所の家も同様の被害に遭っている。暗い中反射材をつけずに子供が全力で走ったり(うるさい)、21時過ぎでも駐車場で騒いだりと個人では手がつけられない(学校からも迷惑行為をやめるよう言ってほしい)。先日、台風が近づいていて、強風の中キャッチボールをしていました。条例で道路族に対する厳しい罰則を作してほしい。こんな人がいたら安心して心豊かに生活できないし、こんな子供を見守りたい人はいません。小瀬にも道路族がいるらしいので、徹底して排除したい。ただでさえ、不便なので住環境が悪化すれば便利なところへ出ていく人が多いと予想されます。
岐阜市や大垣市ほど子育てに力を入れている印象。特に障害や発達障害など、今後高齢化も進んでいくので高齢者対策も必要。どちらももっとICT化が進んでいかないと難しいのではないかと。思います。
池尻には、子どもが集まって遊べる大きな公園がありません。遊具、アスレチックのある公園があるといいなと思っています。

小瀬地区の西側には、グラウンドはありますが、公園がないので、国道を渡らなくても良い場所に公園を作って欲しい。そういう場所がある事により、子ども同士や親同士の触れ合いの場所になると思います。

最近、声掛け事案が発生しているので、人が少ない所には、防犯カメラを設置したり見守り隊みたいな方を配置したりすることにより、子ども達の登下校を安全にして欲しいと思います。

私の子供たちは大きくなりましたが、子育て時期の時、池尻には公園がなく、子供が遊ぶ場が学校しかなかったが、学校では遊べなかったため、他地区の子供たちがうらやましかったようです。

60～69歳

百年橋の下、スーパーホームセンターの近く、川沿いの道路を整備して散歩やジョギングなどできる様きれいに整備してほしい。ぎふの長良川沿いのように

70～79歳

子供食堂の開設(貧困家庭の支援のために)。*各地域に設置 小瀬地区の場合⇒日配食品は三田屋さん 野菜・コメは地元農家様に協力願う

高齢者

60～69歳

老人介護施設を充実させてほしい

高齢化していく地域で、一人暮らし世帯も多くなっていく中で何か楽しめるイベント、行事があるといいと思います。公民館の活用についても広く募ったらどうでしょう

70～79歳

少子高齢化の進展するなかでの敬老会のやり方を見直す。人数増加で会場がない、コロナを契機にあり方を考えることが必要

住民の高齢化が進みますと、買い物難民やゴミ出し難民が増えてきます。多種多様な対応があると思いますが、今後の最重要課題と考えます。

80歳以上

多数の高齢者が家にひきこもっている。身近な場所まで行って帰ってくる。それだけでも気持ちが外に向き認知症予防になると思う

どの地域でも高齢家族が増加している
老人対象事業の充実を希望します

まちづくり・イベント

20～29歳

良い部分もたくさんあると思うが、住民としては関心や興味が持ちにくく、あまりまちづくりに参加したいと思わない。

そもそもまちづくり活動というものがピンとこない。自分がそういうものに興味がないからかもしれないが、このアンケートでそういう活動をしているのだと知った。

第2にお祭りを増やすこと。

これは若者に地域の良さを知ってもらう絶好の機会でもある。そのようなイベント事を増やすことにより、過疎化を防ぐことが出来るのではないだろうか。

30～39歳

子どもが喜ぶようなイベント・行事があるとよい(夏祭りてきなものや昔遊び等)。

40～49歳

きれいな川があるのに、魚釣りの経験がありません。子どもたちにも教えてあげたいので、子どもから大人まで参加できる魚釣り体験をやってみたいです。

小瀬鵜飼や弥勒寺官衛遺跡、池尻大塚古墳など文化的、歴史的に素晴らしいものがあるが地元の人々はその価値(存在)をあまり知らないように思います。

地域のことについて、地元の人々がもっと知る機会があってもよいのでは?ただし、堅苦しいものはだめ。と思います。

「鮎之瀬」の名はきれいでとても好きだが、「鮎之瀬地域」＝「瀬尻地域」の認識がとても低いので、これからもっと知名度が上がってほしい。
 松尾山に登山する時、駐車場が天王山の下有知駐車場しかないのが不便です。
 せっかく素敵な整備された山なので、鮎之瀬橋近くや八幡神社の近くの登山道入口近くにも駐車場を作っていただけると嬉しいです。

長良川、鶺鴒、円福寺、田園など、自然や伝統と共存できていることが地域の魅力の1つだと思いますが、個人あるいは少集団による活動や情報発信にとどまっている印象であり、少し残念に思います。地域の多くの方が、自然に自ら行動してくれるあるいは情報を発信してくれるようになるような仕組み、仕掛けができると良いと思います。

50～59歳

広見交遊会さんが「関広見ICふれあい遊歩道」を紹介したパンフレットでときめきの楽しいお散歩を楽しみました。いつもTwitterに写真とメッセージをのせていて関、美濃、各務原、岐阜など毎日うろうろしています。お友達から関にもまだいろいろと岩場などすてきな場所があると聞いていますが、もっともっと知らない場所など紹介盛り上げてほしいです。鮎之瀬もとてもステキないいところですよ、美しいです。

うまくいえませんがゆるやかに、幅広く、多くの方が交流できるイベントなどを考えてほしい。ややギスギス感がある社会になっている気がしますので、声かけ、あいさつ等が常に普通に自然にできるようになればと思います。これからはがんばってください。

地域への誇りを持つことが関市への愛着につながると思う。広域的な視点を持つことが、ひいては地元愛になっていくと思う。

地域の活性化のために大型店を作ったらどうでしょうか。ショッピングモールや道の駅
 広見周辺に武芸川の道の駅は少し小さいので、農作物の販売所
 公民館でできていたことが、ふれあいセンターになってダメなこともあり、以前のように地域の場として使うことが難しくなったような気がします。子供が小さい頃、サークルやスポーツで使わせてもらった公民館の頃がよかったかなと思います。もう少し楽に、どんな人でも団体でも使いやすいふれあいセンターであってほしいと思います。

60～69歳

弥勒寺官衛遺跡などがあり、もっと大人から子供まで魅力を伝えることが出来ないか。

昔からの伝統や行事がなくなっていくのはさみしいが、反面私を含め他地域からの移住者にとってやはり、なじめない部分があり、微妙な感覚である。が...。
 でも、地域の伝統は守っていかなければと思う。
 昔からの伝統や行事は地域住民のつながりを作るものだと思う。

獅子舞の発祥らしくて、これからも、祭りができるようになったら続けてほしいです。コロナ禍でお祭りもいろんな行事がなくなってさみしいです。

会社勤務のため講演会やイベントへの参加が時間や曜日で限られてくるため、いろいろな人が参加できるように考えるべき

私の住む地域は区画整備がされ地域の活性化が進んでいます

70～79歳

・地域の課題は、それぞれで設定する。
 鮎之瀬地区(瀬尻小学校区)を一つの課題で実施することは困難だと思います。近年、小瀬は宅地化が進み人口が大幅に増加(長池、池田、緑ヶ丘)した半面、池尻と広見は長良川が大きな境となっているためか人口増はあまりない。
 生活環境が異なっている中では、それぞれの課題を実施するほうが効率的だと思います。
 一つの課題で実施できれば、それが最もいいと思います。

何もなければ、何も変わらない。人を動かし、人を集め、人が集う場造りが必要。
 各地区に公民センター、公民館、集会所があるが活用されて無い。
 一つの試みとして趣味の場としての活用も人を動かすことになります。円空仏作りでもよい。又公民館と武道場の兼用できるともっと活用が多くなる。又人を育てる場にもなる
 多角的な使用できる公民センターにするとよい。又、関は藁細工の復活も良いかと思う。
 京都葵まつりのぞうり作りも一案。

<p>弥勒寺と観光的に再建し、円空入定塚、小瀬鶉飼と長良川の景観、及び円空館一帯を観光資源の目玉にしてはどうでしょうか？語り部等も常駐し又喫茶、軽食もとれ、円空せんべいや、円空里芋を用いた田楽の販売及び飲食、さらには地元の農産物や加工品を販売する売店の設置等により集客力を高め地域の活性化を高めることにより、より住みよい地域を目指したらどうでしょうか？</p>
<p>役員だけではなく、一般の住民が参加できる行事。 他の地域は寄せ植えや料理教室、芸能大会等楽しく住民が交流されていると伺ったことがあります。男女共同参加できる環境が望ましいと思う。 鮎之瀬ふれあいセンター立派な施設があります。まだ一度も施設に足を踏み入れてない住民もいらっしやると思います。三地域の住民がふれあえる楽しい行事を実施されることを願います。</p>
<p>関おはやし会に入っております。関観光協会で毎年おはやしを披露しています。是非ともこの地区で開催していただきたい。ある小学校からは依頼があります。是非、ご活用ください。</p>
<p>地域自慢の課題の洗い出しと取組施策の検討、実施見直しの実践 伝統行事、イベント(小瀬獅子舞保存会、敬老会等)小瀬、池尻、広見地区の各課題を洗い出し時間をかけて、よりよい方向に見直しできるよう推進していく 各自治会、各種個別等の後継者(高齢者から若年層への切り替え)対策を早急に推奨する 3地区(小瀬、池尻、広見)の相違点の総合に掲げた検討が必要 地域住民の意思が尊重され、優良主体のイベントが実施できるようにすることが大切</p>
<p>ウォーキング等、気軽に参加できる行事</p>
<p>「地域委員会何？」とか「地域委員会何やっているの？」との声を周りの人から良く聞きます。っと地域にPRしていただきたい。強制的に地域住民を一か所にあつめてイベントなどすることは難しいと思う。これからは高齢者も増えることが予想され、高齢者中心の参加しやすい行事を企画してほしい。若者はこの地域を超えた広い範囲で活動している人が多いのでは。私自身も県内全域でのグループ活動に参加しています。(親睦会、旅行、研修会、食事会等)</p>
<p>80歳以上</p>
<p>①計画は長期、中期、短期の案が必要。夢に向かって継続する。(30年計画が必要) ②鮎之瀬地区は、長良の清流と、奥長良の伝統鶉飼が有る。眠った観光資源に光を。 ③上はカクノウから、下はシモノフチまで両岸を遊歩道に整備し、桜・つつじ・椿を植える。 ④中央に、鮎之瀬公園を作り、関市民の憩いの場とする。 (寺尾の千本桜が良いお手本です。山奥の村であれだけの多くの人が集まる名所はすくない)</p>
<p>弥勒寺一帯は国の指定遺跡として整備され、更には円空塚があるなど関市内でも屈指の遺跡があるにもかかわらず来訪されるのは、興味を持つ限定者にすぎない。全く宝の持ちくされである。一提案ですが、東海北陸道長良川SA(下有知重竹地内)から弥勒寺に繋ぐ歩道橋を架橋し(東海環状線北側)全口高速道(大動脈)からの入り口として開門すれば、伊勢神宮のおかげ横丁のようになることを夢見ている老人です。 地域一帯となって(市として)国や県に働きかけて欲しい、粘り強く糸口を開いて欲しい。</p>
<p>社協・老連・民生がそれぞれ考案し年行事として行っている。行動枠・予算有無等で不充な活動もある。老人対策で抜け落ちた老人のなんと多いことか。</p>
<p>アンケートも必要ですがまず原点に戻った現状把握が必要ではないですか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域内伝統行事、歴史の把握 <ol style="list-style-type: none"> 2-1) 神社(八幡神社、若宮神社、熊野神社、春日神社、白山神社、神明神社、靖国神社、愛宕神社) 2-2) 鶉飼、神楽、神輿(含む行燈) 2-3) 関祭り、八幡神社例大祭、やさやさ祭り、内輪祭り 2. 地域内サークルの把握(含むスポーツ) 3. 地域内芸術・技術・趣味のノウハウとレベルの把握 4. 伝統行事の継承 5. 瀬尻地区自治体の移住住民の出身地構成の把握とニーズの把握 6. 幼稚園、小・中学校と地域の係の現状把握 7. 地域委員会の強いリーダーシップによる推進

コロナで人に会えないが老人クラブ市民運動会地区の行事がみたいです

平成10年頃の話です。

当時の関市教育長から電話があり「インターネットを利用して弥勒寺に五重の塔を建立したらどうだろうか？」というお話でした。私は感慨無量となりました。山紫水明奥長良の閑静な環境の中に赤い五重の塔を(関市のシンボルですよ)清流長良川を中心に鶴飼と円空と弥勒寺、1300年の歴史の中の文化史跡、弥勒寺跡、弥勒寺官衛遺跡群と弥勒寺西遺跡、日本でも有数のこの文化史跡の中に建つ五重の塔。しかし、当時の関市は他の事業に力を入れて、五重の塔にはあまり関心がなかったようでした。

スマホ時代の若い人たちには歴史文化に対する価値観が違つかもしれませんが、赤い橋を渡るとき、弥勒の杜中の赤い塔を想像してみたらどうでしょうか。

最後に決して荒唐無稽な話ではないと理解してほしいです。

その他

30～39歳

子供、高齢者だけでなく、障がい者やその家族への支援もまちづくりの中に入れてもらおうと、もっといろいろな方に住んでもらえると思う。

40～49歳

閉鎖的故の無関心

50～59歳

福祉にちからを注いでほしい。

車いすだったり、精神疾患、独りぼっちの人たち、いろいろな訳ありの人でも、いつでも立ち寄れて、話ができたり、ほっとする、安らげるスペースがあるとうれしいです。

瀬尻小学校を鮎之瀬小学校へ校名をかえたら？

60～69歳

地域の魅力

- ・学生さん(小中高)や会社に行く自転車の方も気持ちよくあいさつをしています。
- ・めずらしい花やきれいな花の球根や押し目も分け合ってそれぞれ花壇やプランターに植え道行く人にも花を楽しんでいただいています。
- ・せまい道は、お互いに道をゆずりあい、軽く会釈をしています。
- ・となり近所の人顔をみたり、洗濯物は干しているかなど、さりげなく安否確認をしています。
- ・みんな仲良しなのが、私の住んでいるところの魅力です。

協力できたか不安ですがよろしくお願いします。

80歳以上

先人達は土地の状況を文字にして名付けられた、池尻は大水時には池の様に、上方にシマ-遊水池-が有る、と、緑ヶ丘、星ヶ丘等は土地の状況が判らない、

口の選択は考えがあってチェックしているわけではなく、なんとなくしたものなので大きな意味や背景はありません(念のため)